俳諧家譜拾遺　下

ヘ 5
2181
2

俳諧獨稽古巻之下　東武　貞松斎乾竜米一馬

四季之詞　六々堅入二嗣　樓川撰

## 春

大皡帝　勾芒神　蒼天　東君　青陽

大蔟律　立春節　雨水中　孟春　初陽　陬月　端月と　祝月

### 正月

むつ月　初春月　初空月　霞初月　王春月　夏正　太郎月

### 元日

なきおほ云　はふのまへ　四方の空　とらの空　初かけし　日の出しめ

こゝの初　こゝの朝　としの初　あらたまのとし　あくる日のまへ

としころ　何やらほし　まろとし　新しき年　上日　年の丸

歳旦　聖王節　改旦　年旦　むしの初月のはしめ　時のはしめ

なれど　三始　三元　元三　みとせもいづ　むかの数月の数　月の数

みれどん　三つの朝とハ云ん

椒柏酒　椒酒　椒觴　元旦節會

四方拝　歯固　御藥を供す

諸司奏　七曜御暦

氷様　腹赤　くずふえ

門 へ 刹 5
巻 2/81 24
飛白堂

國栖奏　院拝禮　朝賀　歳拝　奏賀　奏瑞　小朝拝

祇園のけづりかけ神事　元朝寅剋行之　年徳の神

元方棚　毘沙門の功徳経　若夷　門の神棚

松　さゝれ松　かざり松　かざり竹　かざりなわ　かざりの炭　かざりえび　太ござう　かけ鯛

いせゑびかざる　ゆづり葉　屠蘇　屠蘓散　屠蘇白散

柏ときだむ盃　大ふく　若餅　具足餅かざる

雑煮いはふ　完年房　ゑとをいはふもの　むすびこぶ　ひっさき　古箸　あめのもの　こかいふけし

蓬莱かざる　日しざくら　田つくり　やきとり　ゐさいかい　かちぐり　ところてん　秋のこのみ

くしがき　柚かし　柚かし　だいく　柚柑　柑子　かざりとハ元日也

たはらごめ　十ばさかたり　若男　かざりなど

ふくわらを敷　若水むかふ　毬打　ふりぶり　破魔弓

大福茶　宝引　蓬びらき　湯殿はじめ　弓始

ふるまい初　ひめはじめ　飛馬始　乗馬始　又賀家ニ姫目始也云

きぞめ　舟玉祭　初商　初うり　店おろし

三物連歌　日なみ　叙氣　初鶏　初夜

去年今年　ふるとしよびのま　初芝居　初暦　ここのひき

筆試　試毫　かきぞめ　松囃子　謡初　千寿万歳

一日八日十日　まつり　ゑびすまはし　猿引　鳥追

御下り いはひおさめ せち振舞 御掛祝

懸想文賣 桃符 桃板 桃梗 仙木 神荼 鬱塁

画鶏 貼戸ニ 如願 葭灰を飛して 未央をいふく

綵燕ともし 初子日 子の日遊ひ 小松ひく 子日の松 おしそき摘

若菜 初わかな 若菜粥 七くさ 若菜 すゞしろ

佛の座 ごぎやう わか菜なづな

若菜つむ なづなうつ よ代の水 若菜うつ

初卯し 初寅まいり ふごおろし 愛宕の天狗酒盛 二日

卯杖 卯槌 卯杖 二三の大饗 二日 朝覲行幸 二日 臨時客 二日

裏白 連歌 三日 たはしやく 松の内 春永 改年

履端之慶 元日 履新之慶 同 やぬさめ 五日より十五日まで

叙位 白馬節會 七日 あをうまのせち 七日 正月 人日 七日

鶯替 七日 太宰府 鶯換 六日の夜より 踏歌 七日 霊辰 七日 人を帳に貼す 七日 鏡開

富突 七日 十日 采女 櫛川神事 七日 御斎會 八日 真言院ノ

御修法 八日 宿直入 大元師法 八日 女叙位 八日 女王禄を給ふ 八日

常陸帯神事 十日 恵美須祭 十日 帳とぢ 十一日 縣召除目

十一日より十三日まで 三日 御斎會内論義 十四日 男踏歌 十四日 あられはしり

十四日 年越 綱曳 三毬打 左義長 爆竹 とんど

上元日 十五日 御竈祭 十五日 花燈夕 十五日 かゆの木 粥杖 同日

小豆粥 へをふ 四日 うめそしら 辛岡乃御粥 四日 河内国
獅子頭の神変 十六日 紛調粥 賭弓 十八日 厄神参 十九日 玄亞即分
種民将来 吉田清祓 十九日 具足の鏡ひらき 廿日
廿日正月 廿日あそ子 煎餅を祭ぐ 天守 伊都岐嶋祭 廿日 下
内宴 廿一日 外記政始 吉日をえらむ 御忌 廿五日 福寿草 元日草トモイヘリ
東風 こち おちかぜ 氷とくる おのひま 凍とくる おひまなし こほりとけ もとこそもちる
魚氷にのぼる 五日の候 雪とくる 雪消の後 雪まる 雪のこる 雪解のみ 雪のかた
雨水 正月の中 獺魚を祭る ゆきまわる 木の芽
下萌 もえくさ その 鶯菜 十 若菜 ひとだくさ 初子 古子 子
み入菜 十 よめがはぎ 菠薐菜 根白草
ふきのとう めばきの 芥子若葉 野大根
梅 このはな 香散見草 白梅 紅梅 飛梅 鶯宿梅 好文木 梅ごよみ
柳 青柳 川柳 風見草 川柳 青柳 岩柳 柳髪 目えり柳 こめ柳
鶯 うぐひす 今宵鳥 鶯鳥 黄鸝 経よむ鳥 うぐひす 琴
さえかへる 百千鳥 木地の燕 佐保姫 三月二
長閑 うららか 暖 あたたか さえかへる
余寒 春寒 春楽 春鶯囀 梅がえうたふ

子日衣 鶯衣 鶯の袖 梅の花衣 柳のきぬ 松の花 そら川こぐり ふるこどり 織ら 十久り 花

霞 三月二日元 八重霞 霞の衣 霞の袖 霞のあみ 霞のさ川

霞空む よこ霞 一すじ霞 霞の海 霞に霧 結ひて

白魚 同 干鱈 青苔 鐘 手む あまのり 桜のり かさのり たでのり

十六島のり 出川のり 伊豆のり

野老 同 ところ ひじき 浅草のり すべていづれの国も其名をもつて呼なるべし

たんぜ 山椒乃皮 霞の洞 仙覚之院の法名をよ 春 麻 乱 式 まゐりけてとりふ付

春の宮 東宮之 儲君の唐名 閻魔参 十六日藪の字入て 七月十六日に

繪踏 西の方より 遊行札切 十六日 ○亀戸鷽替 江戸 鷽換とも 廿五日

養父入 ○壁生草 芽は春萌え花は秋 そいふ 是は夏 実又は佐

春三月 二ほるもの おこし出され ども 名のしかつらし くて ことめよ みしとび 冷ぬ 春かな

佐保姫 永日 春風 東風 霞 朧月 春雨 野馬

陽炎 遊糸 長閑 麗 ぬくい ぬるむ 暖

雉 水鳥 囀 鳥囀 百千鳥 鶯 鶯鳥

駒鳥 雲雀 鷓鴣 鱒 鰆 蜆 鮒 鱠

初鮒 青鰻 酢蛤 干鱈 目指 白魚 海雲

鹿尾 海苔類 若和布 柳 椿 褒美の一

花乃句 芹 苜 川苜 梅枝 こしらへ 菁

柳こしらへ まつりし こつそ よめな 菠薐

防風 獨活 山葵 黒鳥芋 くゝる 雜菜摘

山椒の皮　木地の爐縁　まゝありや　[illegible]

二月　夾鐘　鶯鷰節　春分中　仲春　陽中　如月　令月
梅見月　小草生月　初花月　衣更着

中和の節 二月一日　釋奠 上丁日 又八月　二月堂の行 一日より十五日迄
春日祭 上申　大原祭 [illegible]日　初午 稲荷 [illegible]
摩耶参 [illegible]日　行基参 二日　二日灸　[illegible] 七日より十四日まで
芝神明 [illegible]日　[illegible]日　水取 十二日 二月堂　達磨忌 九日より十五日迄
洲濱會 [illegible]日　涅槃會 十五日　[illegible]像　二月の別レ
[illegible]御佛の[illegible]　常樂會 十五日 興福　柱炬火 十五日 さが
[illegible] 八日　積塔 十六日　比良八講　祇園ノ講 八日

事納　武江俗二月八日ヲ事納トシ十二月八日ヲ事始トシテ正月ノ祝事ヲ納メ二月八日ヲ納ル事ヲ年中大根赤小豆ノ六品ヲ入テ汁ヲ[illegible]針[illegible]ヲ[illegible]文[illegible]

貝寄 十九日　社日 中ニ近キ戊の日なり　社翁の雨 社日大[illegible]　治聾酒 社日
事納 八日　針供養　無質汁　彼岸 中日ヨリ三日目　時正 [illegible]　踊念佛　淺間祭 [illegible]日
聖靈會 [illegible]日 天王寺　小野[illegible]　[illegible]日　[illegible]
の後[illegible]　二[illegible]　苗代　[illegible]　[illegible]
種井　種浸　種蒔　種[illegible]　藍蒔　麻蒔　薇
胡葱　蒲公英　杉菜　枸杞　五加木　虎杖　韮　蒜
さいづま　胡葱　野蒜　[illegible]　摘　[illegible]　大根の[illegible]
甘草の[illegible]　[illegible]子　[illegible]　[illegible]
田畑[illegible]山[illegible]焼　[illegible]焼　荻の[illegible]　芦の角

黄櫻 ・美の宗 ・陸英の花 ・銀杏の花 ・接穗 接木
竹芳 ・一夜櫻 ・八重櫻 ・初櫻 ・遠山櫻 ・彼岸櫻
姥櫻 ・一重櫻 ・初花 ・花を待 ・東風菜 菜花
寉葛草 ・沢瀉子 ・金鳳花 ・文字摺草 ・瑠璃草
白頭翁 ・よめすみれ ・百合芽 ・燕 ・加不比登
かほるとこゑ ・帰雁 ・引鶴 ・鴫 ・松毟鳥
孕雀 ・雀子 ・雉子 ・雲雀
蝶 胡蝶 ・蜂の巣 ・虻 ・蛙 ・蝌蚪 ・蛇
地虫の穴を出る ・日永 ・蜷 ・寄居虫 ・鮑の子

ゐころて ・虫出し ・蒸鰈 ・初雷 ・雷の初声 ・初虹
鳳巾 ・紙鳶 ・天蓑下 ・阿蘭陀下

三月

姑洗 律 清明 節 穀雨 中 季春 竹秋 雪月
禊月 櫻月 花見月 弥生 暮春 嘉月
花飛 中姑 暮律 春惜月
経供養 二日 天王寺 ・寒食 ・杏粥
上巳 三日 元巳 ・重三 ・上除 ・桃の酒 ・桃の節供
初かつ ・艾の餅 ・草の餅 ・蓬餅 ・母子餅
桃花の節 ・巳の日祓 ・鶏合 三日 ・闘雞 ・浮生初る
鯉昇二竜門 ・油花 ・御忌を...

須磨の禊 一日巳日 源氏ならひ まきを遊 雛祭 ひなあそひ
ひゝな飾 鶏合 曲水 流盃 巴字盞 巴字のさかづき 羽觴を飛す
汐干 住吉 加田 深川 土佐 蛤みくり 蛤とり八龍 醍醐 出替 出代
石山祭 三日 粟津祭 三日 一条寺祭 五日 六日 三尾祭 九日
泉涌寺開山忌 八日 高雄法華会 十日 ⋯ 十日
吉野会式 十一日 礼拝講 十二日 十三日 嵯峨清凉寺 三十行 善峯寺忌 十四日
比良祭 十一日 祇園一切経会 十五日 壬生念仏 十四日より廿四日迄狂言あり
梅若祭 江戸 十五日 嵯峨大念仏 五日より十五日迄狂言あり 勧学会 十五日 人丸祭 十八日
浅草祭 十八日 三社 千本念仏 十八日 桜の花盛に狂言あり 鎮花祭 花鎮

清輔尚歯会時七叟
三位藤原敦頼 八十三
太宰卿顕広王 七十八
前石州別駕祝部成仲 七十四
李部侍郎永範 七十一
右京権大夫源頼政 六十九
前大長秋藤原清輔 六十九
散位大江維光 六十九

薬師寺最勝会 七日 岩清水臨時の祭 中ノ午日 南祭と云
稲荷の御出 中ノ午 御身拭 十九日 御影供 廿一日を云 真言宗 東寺
高雄女詣 廿一日 仁和寺 池上千部 十九日より廿八日迄 江戸ヨリ一里余 順の峯入
田鼠化して鶉となる 清明の候 紙雛 小弓引
永き日 遅き日
尚歯会 七叟 花の賀とも云
観十九年三月十九日前大長秋 ⋯ 本朝 ⋯
清輔行之
⋯ 麦 ⋯

よぶこ鳥　鷹の巣　引わたる鶴
あをなる七草 支考云三月の末なる のりやさなぎ 其の類の 若鮎
あまごくみ 小鮎 桜うぐひ 桜鯛 桜魚 桜貝
花 蜂 蚕 来子尼二ヒ 新桑摘 柳の葉魚
花盛 花見やし 青葉かれ 花ごし 花や 花の
花の縁 花むしろ 花の笑 花の宴 花の雲
花の陰 陰の花は泡のこと 花のちり
花盃 但桜をもて盃とす 花は花 花見せ 加わとこそ花正花こ花いけ
花籠 花筒 花車 花筆 花代 花結
花うつろふ 花の便り 花むすび
花の妻 花の雨 花むしろ 花をとめる 花をうつ



花の糸 花の数 花陰 花筵 花守 花の衣
花の錦 花のねし 花の鏡
一葉の花 遠き花 花の白き 一輪の花 花にあらぬ
さくら 桜より 花と桜と
花桜 二もとを桜
花桜 うちは桜 ちる桜 山桜 初桜 八重桜
西行桜 人桜 膝桜 布引桜 糸桜 桜人 江戸
東の桜 浅黄桜 太桜 いせ桜 きりがやつさくら
江戸桜 雲井桜 吸寛桜 遅桜 玉子桜
御所桜 楊貴妃桜 白桜 糸桜 浅黄
まつ桜 浄蔵桜 家見桜 桜草 手鞠花
はけ桜 かさし桜 本彩桜 左近桜 住吉桜
ひよどり桜 麒麟桜 市原桜 狸桜 源氏桜 うちの桜

十六日桜　うこん桜

躑躅（ツヽジ）　四季咲有　岡つゝじ　姫つゝじ　白つゝじ

霧島つゝじ　深山つゝじ　もちつゝじ　蓮華つゝじ

黒つゝじ　山つゝじ　八重つゝじ

つゝじ　琉球つゝじ　雲井つゝじ

白つゝじ　きりしま　木つゝじ

まつ島つゝじ　小式部　よど川つゝじ

山つゝじ　一重咲つゝじ

どうだん　是ハ別種

桃の花　ゆすら梅　おつきまるし

桃の花　姫桃　緋桃　紅桃　毛桃の花　源平桃　源氏桃　绯桃　菊桃

海棠（カイダウ）　垂糸海棠　花の　棠林

梓子美海棠　辛夷（コブシ）　四手こぶし　欄木花　山吹の花

木瓜（ボケ）の花　さゝぼけ　源氏ぼけ　山茱萸の花　三月

沈丁（チンテウ）花　木蓮（モクレン）花　諸葛菜　篠の花

小米（コゴメ）花　小でまり　李（スモモ）の花　杏子（アンズ）の花

庭ざくら　えどひがん　棠梨の花　木瓜

林檎（リンゴ）の花　柿（カキ）の花　楊梅（ヤマモモ）の花　桜桃の花

茱萸（グミ）の花　通草（アケビ）の花　長春（チヤウシユン）

藤（フヂ）の花　山藤　ふぢつゝじ　ふぢつれ　ふぢなみ

連翹　高麗菊　仙臺萩　春菊

れんげ草　七重花　金鳳花　丁子草

空穂草　夏枯草とも　三月花咲　五月より八月花

菫　つみすみれ　茅花ぬく　化偸草　華鬘草

紫蘂　古茶　山路　茶摘　馬蘭　當帰芽　蕗の薹

薊　眉作花　桜あざみ　桃色薊　紅あざみ

菊植うる　茗荷竹　若菰　玉椿　三ツ葉芹

三月菜　二月大根　あさつき　蓮銭

令法　はさつまり　鶯谷子　朝鮮空木　三月花咲



桜衣　表白裏赤　山吹衣　表朽葉裏黄　重衰山　[illegible]

つゝじ衣　表蘇枋裏青　覆盆子花　いちごの花　榲桲の花

榎の花　弥生山　八十八夜　忘れ霜　[illegible]

夏　炎帝　祝融神　昊天　朱明　蒸砂

仲呂律　立夏節　小満中　孟夏　[illegible]

四月　巳月　卯月　正陽の月　花残月　卯の花月

更衣　一日　白重　卯の花衣　袷　綿貫　夏羽織

下ケ帯　青簾　翡翠　孟夏の旬　主水司始て氷を献ず

扇を賜ふ　扇の拝　後扇を[illegible]

筑摩祭 一日　鍋冠祭とも　稲荷祭 卯日
住吉卯祭 上卯　大神祭 卯日　八瀬祭 上亥の日
山科祭 上巳　多賀祭 上巳 近江　堅田祭 上巳　平野祭 上申
杜本祭 上申　松尾祭 上申 今ハ酉日　當麻祭 上申 大和　當宗祭 上酉
梅宮祭 上酉　大原祭 上亥　山階寺の俊識 三日 三月　水屋の能 三日 近江
廣瀬龍田祭 四日 此両社大和国にて廣瀬ハ大忌神 龍田ハ風の神也
灌仏 八日　浴仏 同　龍花會 同　仏生會 同　仏の産湯 同
五香水 同　夏入 同　花摘 同 叡山　鷹の塒入 八日　山崎祭 八日
戒壇堂の開帳 八日 南都　地主祭 九日 清水　江州八幡祭 中卯

手安天神祭 十一日 近江栗太　伊勢神衣祭 十四日　擬階ノ奏 七日
練供養 十四日 當麻中将姫忌日　土塔會 十四日 天王寺　千團子 十六日 三井寺
日吉祭 中申日 山王祭也 大宮 聖真子 二宮 八王子 客人 十禅師 三ノ宮 已上七社ノ神楽 辛崎
加茂祭 中ノ酉　宿院 中ノ酉　葵かつら 同　二葉草　かけあふひ
まつりのつかひ
國祭 中申 かも　御蔭山祭 中酉　吉田祭 中子　嵯峨祭 中亥
関白加茂詣 中申　三枝祭 率川祭とも云 又云三枝ト率川ト別社ナリ
向日明神祭 中ノ辰　日光祭 十七日　久世祭 中ノ巳
和歌祭 十七日　菅宮祭 中午 江州　花供 廿一日 弘法大師の

牡丹

神祭、榊え、榊さん、足さん、梅天 まるまのをまとりふ
和尚の天 〆選まれ源氏も形して源しとも 芸の林風、友雅
まるうまやり 菊見茶子、安居、夏籠(ゲゴモリ) 仙人草(センニン) 〆四ら
牡丹(ボタン) 閑ろく茶子 花の茶子 月の茶子
名花王 月よりひ茶子 一捻紅ハ唐ノ玄宗ノ号ル之
右牡丹ノ下ニ記スル分ハ異名ハカリモ季ヲモツベシ次ニ記ス分ハ異名ハカリ
ニテハ季ヲモタズ牡丹ト云コヲ句中ニ入テ異名ヲ遣ベシ附句ニハ異名ニヨリド
コロアルヘシモ有故左ニアラソテ記ス

○牡丹異名 山の井牡丹 寒牡丹 如く山、空谷、
星牡丹十樋良花、高田、鳴り、汚ハ油、露のす、
赤坂、猛墨、油の門、乙子、飛鶴、一文字、
紅梅子、文拝、金丸、月款、紀成、吉田、寿精英、

雲山白、雲竹、いろ子、遠山、陶典、藤若人、
夜雲、朝倉、備前、伊子狸、蛸、猿、高瀬、
同沢、雪峰、小紫太白 芙蓉白 朝鮮、残月、
吉崎の、山口、大居、諏訪部、朝日、星野、一文字、
負月、花入、出雲、初霜、文殊、見えし 色ての花の色
白露、雲衣、四の木、唐船、千の日、心もし、
細尾、霜えい、いすもあひ、高根、姫藤、錦色、
残月、伊氏、弥田、残雪、紅衣、花山、
百足、雲の衣、鉢鉢、白鷺、玉藤、玉纏、明石、
酒呑躍、暖、伊、以後、松風、女下、玉笠山、
少辰、いえし、叢山雪、夏衣、昭君、天の子、
満月、蔓藤ひ、みよしの、唐浮、長魔、紺衣、
佳子、石山、行衣、重山、萬、仙臺、さみき、

## 紅牡丹の部

子陽紅、楊井、松の紫（市郎兵衛）、蓬萊、猩々、旭、
唐獅子、玉簾、北斗、福寿、楊柳、あけぼの、
永楽、奥州、寿老、猩々、浄氏、国師、
花笠、国の光、中将、神楽、二の宮、忠臣、笠森、
世の中、初花、手枕、八汐、明星、みよし、唐井、
宇治山、花山、金剛、小紫、侍女、鶴の羽、
正宗、貴人、藤波、酒呑童子、渡、うつゝ、
太平楽、浮線、小蝶、鶴亀、武蔵野、むさし、
老松、公光、小町紅、名取、竹の内山、琵琶、家隆、
紅鶴、更衣、関守、明石、浮舟、清瀧、
緋衣、花篭、手妻、竜田、右門、鷺、真紅、
小夜姫、玉垣、汐川、文殊、初時雨、油衣、橋の戸山



西楼、白雪、花王、錦光、稲妻、えびし境、

## 芍薬（しやくやく）花の宰相

えびすくさ　一名えびすぐすり
同異名　牡丹ハ芍薬ニ似テ木ナル故ニ木芍薬ト云ヒ又牡丹ニ対シテ草牡丹ト云フ
異名ヲ呼ブベシ　芍薬より後に咲くゆゑ又名残草と云ひ又かほよぐさとも云ふ
加福よすく（姫）小牧の雪（中将）
花車　天津川　錦雉　小牧の雪　白拍子
まさり花　白雪　根くち　白粉　袖の雪　松の白
朝霞　夕月の雨　十寸鏡　金雀　菩薩面
金の月の稿　富士山　雪山　今嬌　根玉　雁宿　漢史
深山の霞　花川　若葉山　玉宝　白雲　青葉　大紫
己　小紫　大紫　天明　青玉　初嵐　富士　佩し
大紫笠　紅梅川　玉の緒　長夜　こゝろ　鳥羽　篭　紅
小清　小草　青蓮　蓮　白雪　青海　紅粧　紫
赤山　白牛山　鏡絲　大山桜　天下一　肥後の雪

金欄手　唐紅　緋の白　光明よ　岩錦よ　富士北窓
指し　月舟　さゞし　海紅　大和白　芽浅
浮雲の峯　桜万葉　字佐橋　龍吟　かつら山　金宝よ
言桜　白ら紅　金盤　吉野　乳母　紅白　玉屋　清橋
玉山納　金ね玉庭り　星紅切る紅　花吹雪り玉　くくちん
百里山　錦山茶　都いの花　霜の夜　志ゝ紙　浅くよ丹
達戸　光く舟　鶴立　壺子君　ふゝ白　松虫　唐嶋　明戸

萵草茂（バウサウシゲ）　萵草ハ仏ノ坐ニシクモノヽチガヤ也是則七種ノ仏ノ坐也ト云説モアリ春ツハナト云ハ此茅ノメダシナリト然レハ仏ノ坐ニシクモハ萵草十六古仏ノ私ノ坐茅ナルベシ
解夏花（ゲゲバナ）　野童ゲンゲサウトモ又ゲンゲサウトモ云　吉ハ僧家ニ四月廿五ノ朝ニコノ花ヲホニツナギテ且越ニオクル故ニセノサノ仏ノザハ是ナリトモ云又仏ノザハ車前也トモ云
杜若（カキツバタ）　漢名燕子花　杜若ノ字誤ル也　かきつばた　るいよ花　花の君　思ゐ草　金銭花（ゴゼニバナ）人今ノ金銭花ハ別ナリ　午時花（ゴジクハ）　萱草（クハンザウ）
二葉草　ふたば葵　あふひ葵
葵（アフヒ）　くくち葵　ふあふひ　御葵　玉蒼菖（クヅ）

一八（イチハツ）　こやう　薔薇（サウビ）　けしの花　あうちのく
風車（カザグルマ）　鴨足草（キンギナリ）　岩菊（イハブキ）　蒲公（タンポ）　ぎさしくのさ花
石斛（セキコク）の花　つきつきくさ　柏ちる　欲しき依の花　香草の花の書之又一説よ
卯の花　谷子根（ガウネ）　卯木（ウツキ）　ひよ楓（カエデ）　ひよ葉（ワカバ）　ひよ若（ワカ）
葉の花（ヅ）　ゆみ葉見れば葉　つるくさ　萩　藤（フヂ）　すずしき子木
夏子茶（ナツ）　朝顔（チナ）　木の下曇　ちりき蓮　桐（キリ）の花　手鎚（テヤリ）の花
美人草（ビジン）　眉似り芥子い云り花まこそ此名有　又花のちいさき芥子の花のちいさきをいへり　又
棣花（カウルイ）の花　枳殻（キコク）の花　まてら　向ひ花
山苣（チサ）の花　厚朴（カウボク）の花　棕櫚（シュロ）の花　藪椿（ヤブツバキ）　いぶりくの花　又称へてもちちま

楊梅実　竹の子　笋　たかうな　たかんな　篠の子

若梨　蕗　蓼　利根草　蓮のすゞみ　蓮根　蓮の浮葉

玉巻芭蕉　苣の薹　藺の花　綿蒲　小手毬

郭公　山ほとゝぎす　四手の田長　時の鳥　子規　不如帰　沓手鳥　橘どり

かんこ鳥　飛蟻　ぜんまる　葭原雀　葭きり　ぎやうぎやうし

蚊喰鳥　蝙蝠　雨ごえ鳴枝の蛙　蚯蚓出る

麻の袋角　鷹ぬける　巣籠　とや鷹　ぼうふり虫

一夜鮓　飯すし　すゞめすし　蚊　蚊柱　蚊屋の釣初　蚊帳

蚕の繭　まゆ　おこの　卯の花くだし　浄心寺千部　十九日ヨリ廿八日マデ

三夏二渡物

卯浪　四月の内必浪さはぎ高くなるを卯浪と云　五月も

三夏ニ渡ル物

扇　團　木綿　晒　単物　單羽織　汗　汗拭

暑　涼　明安き夜　短夜　編笠　日傘　新

茶　古茶　麦彩　新麦　切麦　冷汁　夏冷

夏酒　水鉄　水鱧　干鱧　干鰈　烏賊

蟹　鰻　洗鱸　鮨　鮎　あゆ　魚梁　子又

蚤　蚋　蚊　蚰蜒　蝿　蠅虎　蛭　蚯蚓　蛞蝓　蠑螈

蝸牛　かたつぶり　でゞ虫　蛍　青鷺　鳥屋鷹　夏蘢

夏行 夏断 夏書 夏経 夏花 一夏
青山椒 刈葱 馬歯莧 苔草 蕗
蓼 藜 根芋 蓮のまゐ 蓴 海松 蝙蝠
蚊喰鳥 茂ル 夏木立 洗鱸 紫蘇 蓼芽出
蟷の子 さゝめの子

五月
蕤賓律 鶉月 芒種節 皐月 夏至中 早苗月 仲夏 端月 茂林 月見ぬ月 皐月
加茂の足揃 一日 競馬の試也 松本祭 一日 献菖蒲 三日
あやめの輿 あやめふく 四日 内膳司供早苗 山城の国よりあやめを供すと云
五日の節會 あやめの机 あやめのかづら 天子武徳殿に出御ありて節会を行はれ群臣玉冠に菖蒲をかくる

端午 五日 端午とも 重五とも 五月ハ午の月なれバ端五とそ申す也
菖蒲 あやめ 菖蒲のかほり あやめぐさ あやめふく あやめのかつら
軒菖蒲 菖の枕 あやめ草
蓬ふく 葺ふく 葉の風 幟 五日 兜 飛虎
蒲人 飾人形 薬玉 くすたまの玉 續命縷 辟兵繒 條達 五彩絲 長命縷
菖日 五日 菖子 競渡 粽 こもちまき 茅ちまき あめちまき
飾粽 ささらちまき 九子粽 角粽 錐粽 艾粽 九子粽 艾人 蒲人
粉團 滴粉團 水團 白團
粉團を射る 桃印符 五日 赤靈符 五日

蘭湯をあぶる 五日　競の菱　鵑 鳴音を云

競渡 競轉 水馬　騎射 馬弓　左近の真手番ひ

引折乃日　二日ハ左近の荒手番ひ四日ハ右近の荒手番ひ
五日ハ左近の真手番ひ六日ハ右近の真手番ひ

隨身の褐の尾を引折て是を引折といふ也

神子ども乞ふる　端午午の時爾作の切符を渡るをとりて
仙家をも得るといふ

印地　楝の枷ひもの 五日　加茂の競馬 五日 くらべうま きそひうま

柏餅　柏ハ清浄なるもの故神供にも用ひて
日本高神にも用ひられ以柏手を拍るより云

藤の森祭 五日

さつきの鏡 百練鏡　賀茂祭 五日

生玉流鏑馬 五日

宇治祭 八日　今宮祭 九日 今ハ十五日 紫野にあり　竹酔日 十三日 竹植日

室明神祭 十三日 播州　両社祭 十三日 近江　有宮祭 廿五日

最勝講 清涼殿にて行ル　賑給 米などをめぐみ施すもの　住吉田植 廿八日

山田御田扇 八日　芒種 五月節　夏至 五月中 陽気至極して一陰生ずる

さつき雨 五月雨 くみだれ 梅の雨 黴雨　虎が雨 廿八日曾我の祐成討死する日

祇園の御輿洗 晦日　半夏生 夏至中ヨリ十一日目　富士垢離

蝉のもぬけ　鴬音を入る　菰刈 まこもかり

藻の花　藻を刈 藻刈船　萍の花　和布を刈 荒和布刈

百合 車ゆり さゆり 姫ゆり 鬼ゆり 紅すじ百合 かのこゆり　むくつけ花

さるとりの花　末摘花 紅の花　石菖　花菖 庭菖 石菖 岡ミハヤメ

萱草の花　わすれ草とも忘憂草とも云　下野の花　金銀花とも云　すいかつら
茶湯草　四ひらの花　萱蒲　鍋露子
天蓼の花　覆盆子　木いちご　宝子
蚊帳草　かやつり草　薏苡　酢漿の花
早松蕈　藜　莧　茄子　早瓜　越瓜　不し瓜
胡瓜　めく瓜　冬つけ瓜　粟　秬　稗　胡麻を蒔　薮
豌豆　空豆を引　青梅　梅を漬る　梅を干す
梅むき　小梅の実　川葱　生胡桃　杏子　李
枇杷　楊梅　榊の花　花柘榴　橘　樗　せんだんの花

櫨橘　未央柳花　白雲木花　大山蓮花　梔花　黄金草
新羅子　鳳凰草　覇王樹の花　沙羅双樹の花
南天の花　青山椒　若竹　天南星の花
玉簪　撫子　石竹　とこなつ　鉄線花　栗花
樊噲草　三白草
薊　おにあざみ　紫蘭
鈴蘭　薮茗荷　漢名杜若　仏甲草　鬼
落葉生　蛍草

勝負木（シヤウブキ） 植物也 是加茂の競馬の時此木まで乗るれ遅速乃
侍従として作る是ス 櫻花（かばざくら） やせんさんの花 櫻花（きよりう やまざくら）
入梅松（ツイリ） 姫路の城門ニ松あり入梅ニ至て此松の葉ことごとく枯 入梅
晴てまたもとのごとく青くなりけるなり
合歓の花（ネブ） ねぶの花 田植 早乙女（サヲトメ） 田哥 子苗 余苗 苗
玉苗 早苗田 田草取 田植笠
さはきおろし （田子 菅笠 引声 取め）
○五月名 青嵐 たそかれの月 まぐさ
ほとゝぎす くの華 光源氏 須磨 源氏
好色 よしきり 菖蒲 むさしの 古今 嵐山
二文字 卜紅 まつ人 てるさき 引入 三条紅
青紅 いおれ 子葉 くつれ香 さつき紅 大方紫
万紫 小紅 そて白 相生 曙江 唐織 金花
五月 紅すだれ 千年 小紫 撫子 百万 紅葉
おいらん 浮舟 錦織 鷺白 大紋 まつくれ 鳳凰
小紋 三笠紫 なら山 こてふ 二面 くろき紫 小てふ
嵯峨山 小紋 鞍馬山 白浪 須磨 小紫 唐衣 白菊
空せみ 若むらさき 三井寺 花鳥 唐錦 袖さき 白鶴
神楽 佐保姫 清水寺 横笛 源氏車
おくれ 白浪 鞍馬山 紅たちまち 相生 霧香
羅漢 なにはの 人丸 有明 玉かつら 唐崎
安芸の宮しま 楽天 若紫 一文字 村雨
園 横笛 夜川 紅入 松風 光上 源氏 唐崎
浮舟 花鳥 紫式部 撫子 源氏 しみの
白しぐれ 花ずり 撫子 ちまき 亭座の
八重かしみの
右の外 是らの数多あれども えいゆに用ゆ さきいふる
但し 是ら草の物に類る名目多し 是さき は 是に
ても 夏の季とすべし と 知るべし

百合の花 山百合 さゝゆり 姫ゆり 鬼ゆり さゆり

百合の異名 [illegible]

笹百合 [illegible]、 日和、 紅百合、 鹿子、 高麗、 天目、

姫すかし 筋、 黒百合、 豊前、 大唐、 武隆、 車、

為朝、 箸、 漢名、 琉球、 大名、 鉄、 鍬、

黒、 鬼、 南京、 焼、 昌、 朝鮮笄、

螢 螢火 [illegible] 新茄和 小鯵 水馬 鳳仙子 蛆 蚤

蟬 冠蟬 啞蟬 五月 尚六月ニ出 蛇衣をぬく 或六月 蚋 蚊 蛞蝓 蝸牛

蚊柱 蚊生火 蛭 蟷螂 水鳥の巣 [illegible]

蚊とんぼう かるの子 鴨の子 水雞 浮巣 通し鴨

黒鴨 輕鳧の子 諸鳥毛を替る 鹿の子

鷹毛を替る 鵜川 鵜つかひ 鵜まはし 鵜舟 鵜繩

鳥黐打 青鷺 蝙蝠 四月八日ヨリ 蟾蜍 鳴くなる

蟷螂 鷸 五月雨 五月闇 黒き 白き

水鶏 水鷄 入梅 梅の雨 さみだれ [illegible]

[illegible]

菖蒲 [illegible] 皐物 祇園の神輿洗 三十日

[illegible] うきくさ 辻が花 [illegible]

六月

林鐘律　小暑節　大暑中　季夏　[illegible]期

且月　遯月　[illegible]月　陽氷　風待月

鳴神月　松待月　常夏月　水無月

氷室　朔日

氷室の御調

氷のおもの

氷水めして

氷室の雪

氷室の桜　千載集ニ仲正　[illegible]

氷室の名所ハ　宇多野　松ヶ崎　栗栖野　闘鶏野　大野

長坂山　謡曲にも丹波の桑田郡と[illegible]

お嫁祝　十一日

忌日の御飯を供ず　一日

勝鬘会　一日　四天王寺　摂津

富士詣　一日ヨリ晦日迄

江戸浅間祭　一日　書かけれ蛇　五色御[illegible]

一夜酒　こよみ　あまざけ

[illegible]生の[illegible]　尾張[illegible]　一日[illegible]　延暦寺[illegible]　勅使立

六月会　四日　伝教大師忌日也　延暦寺ニテ行ハル

御射の御占　十日

月並祭　十一日　六月十二月二度アリ

神今食　十一日

解斎の御粥

鳥越祭　九日

江戸天王祭　五日大伝馬丁　七日南伝馬丁　十日小舟丁　八日御旅前　品川七日ヨリ十九日マデ　其外[illegible]

祇園会　七日ヨリ十四日ニテ　長刀鉾　函谷鉾　月鉾　鶏鉾　菊水鉾　放下鉾

舟鉾　占出山　岩戸山　孟宗山　郭巨山

琴破山　白楽天山　太子山　木賊山　芦刈山　花盗人山　山伏山

天神山二ツ　傘鉾二ツ　橋弁慶　鈴鹿山　観音山　役行者山

黒主山　浄明山　鯉山　[illegible]山　庭鳥山　八幡山

祇園臨時祭　十五日

熱田祭　十四日

津島祭　十四日　十五日　尾張

厳島祭　十七日　安芸

竹生島祭　十五日　近江

芦[illegible]

江戸山王祭 十五日 勢揃アリ 同 氷川祭 十五日 赤坂ニアリ 武蔵国一ノ宮也 山王アリト隔年

かつら 嘉定銭 嘉定喰 相國寺懺法 十七日 よまゐり

伊勢の祭禮 十六日十七日 出家を禁ず 博多祭 十六日十七日 志度寺祭 十七日 讃岐

西園寺殿妙音講 十六日 座頭の涼 十九日 二月ニ積塔ノ会ト云 三月ト 京清聚庵ニアリ

鞍馬の竹切 廿日 御手洗詣 廿日ヨリ廿九日マテ 糺の納涼 下加茂の宮の みたらし川ニアリ

上難波の御祓 大坂天神の事より 坐摩の御祓 廿二日 摂州 愛宕千日詣 廿四日

嘉祥祭 十五日 冊没 天満天神御祓 廿五日 摂州 加茂の月社祓 二十日

住吉の御祓 三十日 唐崎祓 三十日 節折 三十日 大祓 三十日

御禊川なかし 夜まうし 夕すゝし 禊する なごしのはらへ

茅の輪 形代 麦ぬき 荒和の祓 麻の葉を流す

夏神楽 川社 小蝿なき 水無月祓 夏越祭 三十日

道饗祭 雷鳴の陣 雷の声三度するくとれバ大将已下近衛ニ次将ニテ弓箭を帯して内裏を守護し候して帝を守護しまゐる事也

施米 東山西山北山あらゆる たうときさき法師ならぬ米塩をおほやけより ほどこさるゝ事也

大山参 今月廿八日ヨリ 江戸及近国ノ僧俗相州大山石尊へ参詣す是を山参リト云 又七月も盆中ニ登山するを盆山ト云

小暑の節 六月中ニ 温風 六候第一 鷹羽をつかひをおそふ

大暑の節 六月の節 腐草蛍となる 溽暑 あつさ あつき日

夕立 よたち 白雨 天貺の節 三伏 夏至ノ後第三ノ庚ノ日ヲ初伏トス 四ノ庚ヲ中伏トス 立秋後初庚ヲ末伏トス

土用干 虫干 虫拂 風薫 暑中ノ南風ヲ云 簟 竹奴 竹婦人 脚婦 汗衫

扇 かはほり 五明 但夏専用ルモノナレドモ礼具ナレバ四季トモニ持モノ也 白ニヨリテ定ベシ 扇トバカリハ夏也 中啓 末廣 舞扇 礼扇 亦雑也 扇捨ル 二扇ヲタクハ秋ナリ

團 うつハちハあふらくちハ 圖をとく 團すつハ 難ん 薫衣香 掛香
涼 月涼し 夜涼し 泥鴨の子ども水音も涼しとする裏あり
納涼ト書てすゞみとよむ 涼しとよむとも 又避暑あつさをさくるとも
雲の峯 青嵐 炎天 日盛 船遊 船遊山
清水結ぶ 清水のせく 四条河原の納涼 六月七日ヨリ十八日ニテ京
両國川納涼 五月廿八日ノ夜花火ヲ燈シ夫ヨリいつとしなく涼ノ人の多キコト日本一の納涼のある所也
いづみ 泉水 泉殿 瀧殿 川狩 水のけ合ふ 又ハ川がりとよむ
さらし井 井戸かへ 醤油つくる ひしほつくる
納豆つくる 奈良漬 製す あまざけ酒
心太 こゝろぶとともところてんとも 蒻突 とうもろこし 夏切の茶

水飯 洗ひ飯 葛水 砂糖水 冷水賣 振舞水
干飯 又明寺糒 梅むき 梅漬 煮梅 沖鱠 せごし鱠
早桃 楊梅 李 林檎 百日紅 さるすべり 朝鮮躑躅
瞿麦 撫子 やまとなでしこと 又撫子 川原なでしことよみなでしこともいふ 常夏 是も名 石竹も
蓮 荷葉 蓮の実 蓮の巻葉 浮葉 紅蓮 白蓮 荷ハ葉之 藕ハ根之
蓮ハ花之 蓮ハ花ニ葉ヲ見セテ有ユヘ蓮ノ実 莫之 蓮ノ実トブハ秋なり
河骨 川名ニ草也 菱の花 実ハ秋之 蒲の穂 竹の皮とる
竹の皮むく 澤瀉 蘭と刈 蘭念佛 いせ松坂の近在で蘭を多く作りて
細工物ニ用ル 四月八日より七月十七日まで夕涼ミ里の童ア跡をたゝきて
念仏をや村中をあるくを蘭念仏といふ 又小町といふ 仏をもいふ
鉄仙花 てつせんくわ 眼皮 がんぴ 凌霄花 のうぜんかつら

玉簪　麒麟草　鈎鐘草　仙翁花　海藻
射干　烏扇　ひあふぎ　烏おうぎ　紫蘓　青鬼灯　青とうがらし
蒜の根　赤草　旋の花　夕がほの花　瓠の花
鷺草　椿の花　紙こすし也　カミスキ　虎の尾　風蘭　夏枯艸　大才名金燈也　正月葉出四月　枯花六七月花　ガカリサンチリ
綿の花　葛の花　萱刈　藍刈　苘麻引
麻刈　提蘇　刈ハ夏之　実ハ秋之　引モ夏　海棠荊　四月花咲　つくがうぎく
夏引の糸　くろむし　田芋丸　青田　大角豆
莧　茗荷の子　干瓜　姫瓜　白梵天　拍瓜
鳴子瓜　熟瓜　越瓜　浅瓜　胡瓜　新干瓢　干瓢剥
瓜漬瓜　瓜まき瓜　花丸　うり瓜　銀真桑瓜　山瓜　いんげん豆

アキマサ廿六助　麻地酒　右ハ所ニヨリテ　暑ナカフアマ　サケノタクヒニ　テ一夜ツクリ　升テ田舎　ニテ日待月　待庚申待　ホ六四季ニ　ツクルモノナリ　依テ待酒ト云　夜発句ニハ夏　ナリ附句ニハ　依前句可　分別　此六　随国所存方　差有之云し

江戸鋪網初　十六日　六月十五日マテ網ヲ下ス事停止　一夜酒　あまざけ
麻地酒　夜鯵賣　せごし膾　薫風　風薫るとも　坤の風也　霍乱
香薷散　膳ヲ打露　水の物　あらいがな
夏くれて　夏わすれ　夏おくる　夏の後
夏ぞ急ぐ　るる　夏の限り　夏を返して　其夏を送る
夏すぐる　秋を隣　秋を待　秋近き
被筆草　六月　七月　発句ニハ夏之　瓢箪　日実ハ秋ヨリ冬　但前句ニヨル也　発句ニハ安方秋之
南瓜　六月ヨリ秋マテアリ　発句ニハ夏之　蚤　蚋　虻　夏ヨリ秋マテ有虫也　升麻升
土用艾　香薷　蜜蜂也　矢車草　六七月ニ　発句ニハ夏
雪冬　木之　六月花サク　白芷　秋マテ咲　ヨロヒクサ也　夏ヨリ　黄耆　花実　夏之

夏虫（ナツムシ） 夏をこえたとよむハ蛤之次ニ虫を可用しまん 又其蟬と共によめり蟬山
蟬のぬけから せミのもぬけ すがるなく 万葉にハ蟬をすがるといふ
蟬（セミ） うつせミ たまセミ

蛻（モヌケ）
蟓（セミノヌケ）

冨士の雪 諸国ハ六月十五日後初全 氷室桜 [illegible]

季吟忌 宝永二年酉六月十五日 池の[illegible]

辞世 [illegible]この世後[illegible]



七月

秋 少皡 帝 蓐収 神 旻天 白蔵 金商

夷則 律 立秋節 処暑中 孟秋 桐秋 相月 蘭月

明景 桐秋 桐月 文月 親月 孟月 朗月 朗景 夾鐘 扨成

月小江 寄ル月 东ニ寄ル 餞暑 一日 立秋 来る秋 秋の

初風 初て涼し 新ニ涼し [illegible]の秋 [illegible]

初秋 一葉[illegible] [illegible]衣 桃の[illegible] 柳[illegible]

星柳 桐 楸 槵 楊 灯籠 摂待 門茶

[illegible]のほとり 六日 同 七日 洗車雨 六月雨ヲ洗車雨ト云 洒涙雨 七日ノ雨ヲ云

七夕 [illegible]星 [illegible]姫 [illegible]姫 [illegible] 百子姫 [illegible]

めをと[illegible] 男七夕 二つ星 牽牛 星[illegible] 星のちぎり

織女 牛女 [illegible] [illegible]姫 梶の葉 [illegible]

天の川 [illegible] 銀河 銀浪 星河 銀漢 雲漢 天漢

[illegible] 左界 天源 銀湾

[illegible] [illegible]舟 七夕の舟 [illegible]

[illegible]橋 烏鵲の橋 [illegible]橋 星[illegible] 庵の[illegible]

二星乞巧樓 乞巧奠 乞巧針 七孔の針 九孔の針
穀の葉 机洗ひ 硯洗ひ 七箇の池 百箇の池 百尺の池
梶の葉 芋の葉の露 索餅 さくめん かし小袖 かし衣
七日の節會 本願寺蓮花 飛鳥井家七夕の鞠
池の坊立花 逆乃峯入 短冊竹賣
文殊會 八日東寺 六道參 九日 槙賣
清水寺千日詣 十日 浅草四萬六千日詣 十日 王子権現祭 十三日
盂蘭盆 うらぼんと云 盆供 聖霊祭 霊祭 魂棚
施餓鬼 迎火 麻の箸 瓜の馬 茄子の牛 棚經
燈籠 高灯籠 揚灯籠 切籠灯籠 盆とうろう
紙灯籠 舟灯籠 花灯籠 [illegible]灯籠

盆の商ひ[illegible]

盆供 水の米 枝豆 枝さゝげ 瓜 茄子 青柿
蓮の葉 鬼灯 青栗 [illegible] 木[illegible]子
蓮の葉 蓮の實 麻がら賣
草市 盆市
墓參 盆參 踊 盆踊 念仏おどり 題目踊 小町おどり
中元 十五日 生身魂 蓮の飯 さし鯖 三井寺千日詣 十五日
送火 十六日 施火 山々の送火 大文字 妙法
舟 鳥居 夏書納 解夏草 水燈會

経木流 十六日 亀井　閻魔参 十六日　盆の早具入 十六日 伊勢
新綿奏 十六日　八幡安居頭 十五日今ハ十二月　花火
綱火　からくり花火　鼠の花火　のぼり花火　てうせい
星くだり　赤くり御花火　釉かた火　菊花火
誕天寺千部 十五日ヨリ廿五日マデ　善福寺童相撲 十五日 江戸麻布ニアリ
御霊祭のけい出 十八日　鷹の塒出 十六日　鷹山別 廿五日　鷹打
荒鷹　小鷹狩　初鳥狩　鷹鳥を祭る　愛宕火 廿四日
地蔵祭 廿四日　御射山祭 廿七日 小射山狩とも山狩とも有り　穂屋作
角觝 こすまふ　召合　関取　小結　あらし　手合　お相撲　辻ずまふ　ぬきがけ　稲妻　いなびかり　いなつるびの
露　しら露　うら露　露の玉　霧の香　露けし
露の森　袖の露　夕露　夕ばえ　霧　霧の海　霧雨　雰色　霧白し

秋のくれ　秋の人　残暑　秋風　秋の風　律風
秋はめ月も清く　冷やか　扇置　扇捨　團扇置 秋の夕　うちハすつるとも
冷やか　爽氣　扇置　日本記　團扇置
木槿　草花　壁の花　女郎花をみなへしとも
男郎花　花の色白し　らん　らんの花　ちらし　白萩　あらはぎ
野菊　藤袴　実も秋　刈萱　水引草
萩　鹿鳴草　かまつか　もとあらの萩　風草　小萩　宮城野　萩の下露　萩が花妻　萩の上風　萩原　萩がもと　萩の花
月草　萩殿　芭蕉　ばせを　茶の木　藤の花　露草
薄　花すすき　穂すすき　尾花　花野　風と知らん　すまひ草　太子草

桔梗　きちかう　ありのひふき　おかとゝき　ひとへ草　○草の穂　茅なとの穂の類を総ていふ

仙翁花　仙翁花とも　薬師草　手向草とも　まつむし草

薏苡仁　翁草　菊をいふ　別に翁草あり　鳳仙花　わいとの花

曼珠沙花　死人花　益母草　めはじき　紫の花

ふぢばかま　蓖麻　茗荷の花　常山の花

槐の花　源氏草　ゆふかほ　蓮の実　飛ぶ

糸瓜　木瓜の実　棗　南瓜　かぼちや

早田　室の八しま　田畑の虫送る　ひやし麦　ぬる麦

はつ茸　秋の野　秋の野辺　秋の夜　秋の蛍

秋の小草なとはいふ　秋の夜　長きなと

瞿麦　瞿麦　花　同うへ　葛の葉　うら葉

龍胆　龍胆草　弁慶草　景天草　延命草　葡萄　紫葛

鬼灯　鶏頭花　非花　雁来紅

草花も　萱　萱　萩の花　雉の花　さいかち

新　蕃椒　唐辛子　番椒　とうがらし

芋　牛蒡　夜数　芋茎

おたなくし　おたまき

零余子　青瓢箪　百なり　ひやうたん

薯蕷　芋　守田　稲　稲葉　稲の花

稗　ひつち　栗　菊　桔梗　汲水

朝顔　四季の実　新米　新米　早稲

稲扱　藊豆　ゑんどう

鳥甲 烏頭の花　ほとゝきす　梨子　西瓜

櫨楓　青楓　鳩吹 鳩吹風とも 秋吹風をいふ　初嵐　二百十日

廿六夜　早稲　鳴竿　鳴子竿　鳥おどし　引板

案山子　添水　荷前の使　立田姫 秋を守る神なり

千秋楽 律ハかりも　律の調　稲舟　稲干　稲扱　田の色

虫撰 虫聞　虫　虫合　虫賣　虫篭 夕顔別當 [illegible]

蛬 蟋蟀 ちゝろ虫　筆の虫 是もきりぎりすのこと

叩頭虫　螽斯　蟿螽 俗ニだつゝとも云　鐮虫　馬追虫

松虫　鈴虫 大和鈴虫　草雲雀　竈馬　鉦叩虫

蛁蟟　蓑虫鳴 この虫ハ木のうしハ 誰々鳴ル也是ハ秋　甲虫　藻ニ住虫の音ニ鳴

寒蟬　いぼむしり　蟷螂 かまきりとも　蚯蚓鳴 我とかれの鳴と云ハ秋也

蜻蛉　秋津虫　蝗 いなむし　常山の虫　鱸 落鱸も秋也　鱰

鰍 かじか　小鰯　鯎 引裂膾　[illegible]

處暑の節 七月中　昏早き　田村草 葉ハ紫花のやうし 花ハ葡萄のやうし

鱧腸 一夜ガ毛早蓮ト云　七竈の子　當歸の花

曼陀羅花 唐人笠とも　落菓の實

堀之内千部 十九日ヨリ廿八日マテ　柿　渋柿 渋つく　青柿　新柿　渋とる

渋紙踏

三秋ニ渡ル物

竜田姫　千秋樂　律ノ調　霧　露　身ニ入

冷　月の霜　雪月の氷　月の桂の花實　紅葉

照月次　新月　弦月　月　椎柴　椎葉

柾　荻　濱荻　薄　葛の葉　真葛　忍艸

蔦　芭蕉　景天　花壇　草ノ花　野の花　蓼

萱　角觝草　太子草　萩殿　萩戸　鬼灯

新番椒　若莨菪　糸瓜　南瓜　冬瓜

薑　牛蒡引　芋　芋茎　薯蕷ツクネイモ　ヤマノイモ

零餘子　菓　樗　青梨　木梨　水梨

新米　今年米　稲舟　稲刈　稲干

稲扱　稲　田の色　田ノ庵　小田守　鳥

落水　添水　引板　鳴子　鳴竿　鹿驚　案山子

彈　焼帛　鹿火屋　新綿　木綿取　桃吹

鹿　虫　藻ニ住虫　蚯蚓鳴　蓑虫鳴　小鷹

鴫　鶉　鶉衣　鵙　鶺鴒　鯊　鯔　小鯊鯽

鰯　鰻簗　秋ノ七種　虫撰　小鰯　列衣膾

鳩吹　相撲

八月　南呂律　白露節　秋分中　仲秋　竹春　壮月
桂月　中商　之月　雁来月　秋風月
月見月　雄月　中律

八朔　八朔梅　田面節供　天中節　朔日　たのむの祝ひ
繪行器　水村祭　一日二日　堺ノ天寺ニ　堺天神祭　三日四日
北野祭　四日　白髭の開帳　五日　敦賀祭　十日　司召　十一日
放生會　十五日　岩清水　いきものを放つ　八幡祭　鶴岡
八幡祭　十五日　筑紫宇佐宮祭　阿野津の八幡祭　十五日　伊勢
志賀八幡祭　十五日　豊浦祭　箱崎祭　十五日　筑前
河州誉田祭　十五日　三津八幡祭　十五日　摂州　富賀岡八幡

祭　十五日　江戸　野口念佛　十五日　駒牽　十五日　駒迎　望
月の駒　霧原の駒　名月　名高き月　今宵の月
十五夜　三五夜　望月　月見　端正月　月の圓　新月
新月　月華　望ノ夕　月さやか　待宵　十四日　望を小望月と云
十六夜の月　既望夜　倡月　三日月　三日の月也　いざよひ月　十七夜
居待の月　十八夜　臥待月　十九夜　更待月　廿日の月なり　月の弓　弓張月　月弓
の宮　日本紀　月宮殿也　上弦下弦のわかちを弓と云　月のうろこふね　半月ヲ云也　月の舟
月のかつら　満月を云　月の兎　玉兎　玉蟾　月の桂
常娥　嫦娥　桂男　月の氣　月の鏡　月の霜　月の雪
月の都　夜中月　廿日　廿三夜　真夜中　星月夜　夕月
夜　孟の光　暁月夜　月の前　月の眉　月と友　月の友
芋名月　照る月　残る月　さやけき月　月の姿　ゆふの月

菅大臣祭 十六日　御霊祭 十八日 八所ノ一ハ崇道天皇 光仁帝ノ子早良親王
藤太夫 小弐広継　伊予親王 崇道天皇ノ弟　文太夫 文屋宮田丸
藤原夫人 伊予親王ノ母　火雷天神 菅丞相　吉備聖霊
菜名祭 十八日　西院祭 廿八日　菩薩祭 廿二日長崎　秋社 秋分の前後ちかき戊の日
釈奠 上丁ノ日 二月八月　亀戸天神祭 廿五日 江戸本所　龍田姫
秋ノ宮　後ノ彼岸　死活杖の祭　野分　やゝ寒
秋分節 八月中　薄紅葉　初紅葉　砧　長き夜
名木散　牡丹の根分　木芙蓉　木犀 金木犀 銀木犀
桂の花　梅嫌　櫨もみぢ　柞紅葉　野山の色

縷紅　金剛草　檀特花　花紫　白粉の花
鳥頭　紫苑　鬼のしこ草　露草　月草
宇治の花園 草花　花野　蔦　芒　薄の穂
尾花　志のすゝき　糸すゝき　花すゝき　一もとすゝき
まそほのすゝき　葛　はふくず　まくず葛原　玉まくくず
しまますゝき　くずの花と呼
草の色付　花壇　野菊　鳳仙花　黄蜀葵の花
漆の花　烟草の花　茜掘　藍の花　蓼の花 円穂
木賊刈　芦の花 芦の穂　苦参引　胡黄連引
薬掘　採薬　萱刈 萱苅 萱ヶ軒端　新藁草
柘榴　銀杏子　茴香の実　茘枝　蒲萄 ぶだう

ゑびうろ〳〵ふぐ〳〵あ かはらびらゝら、通草 天瓜 種ふくべ
蘿豆 菱取 虞美人草 木の子 松蕈
狼牙 白粉の花 萵苣の花 菌 茸 椎茸
紅茸 羊肚菜 鬼蓋 鬼筆 雚菌 竹ノ蓐 椋茸
石蕈 初茸 茶タケ 湿地茸 草茸 舞茸・松露 榎茸
猪茸 鼠足菌 馬勃 天狗茸毒アリ 千本湿地 杉形
蘑菰蕈 平茸モ 蛇茸毒 月夜茸毒 笑菌大毒アリ
毛見 中稲 落穂 稲束 八束穂 粟
秬引 罌粟子蒔 蘿蔔蒔 小菜 はまみな まびきな
中抜大根 雁 鴻 鳱 腹白 一ノ陣 田面の厂 落厂 白厂 海厂 一ノ字

志ろ〳〵ノ うぐひす又云 一番 これふく うりごち 二季鳥一の名云
稲負鳥 色鳥 秋のいろ〳〵の小鳥也 渡鳥 秋来る渡る鳥なり 翡翠
啄木鳥 鵯 鶫 猿子鳥 桑鳫 鶲 鴿
椋鳥 山雀 四十雀 五十雀 小雀 頬赤 繡
眼児 瑠璃鳥 画眉白 連雀 鶺鴒 鶸
鵯鶺 鶏鴿 鳥鳳 橿鳥 鵼鳥 鵙
鶺鴒 鳩鴿 木兎引 囮 高羽籠
初鮭 俗作鮏 鮞 江鮭 河鹿 蛙之山川ニアリテ秋鳴 声ノヨロシ
鮖 杜父魚ノ属ニ河鹿トハ別ニ魚ナリ 水底ニアリテ鳴 諸国ニアリ三ニヨリ名カハレリ

鯷（ヒシコ）一説ニ春トス未詳 故ニ両季ニ出ス
新酒（シンシユ）（ニイサケ）
下簗（クダリヤナ）
新走（アラバシリ）新酒のこと
蛇入穴（ヘビアナニイル）

九月
無射（ブエキ）律　寒露節　霜降（サウカウ）中　季秋（キシウ）　杪秋（ベウシウ）
玄月（ゲンゲツ）　素秋　晩秋（バンシウ）　長月　菊月
紅葉月　梢（コズエ）の秋　小田刈月（ヲダカリツキ）　木染月（コソメツキ）　菊秋
寝覚月（ネザメツキ）　色どる月
御燈（ゴトウ）三日　三月ニ同し北斗に灯をさゝぐることとぞ
不堪田奏（フカンデンノソウ）七日　桂宮（カツラミヤ）相撲（スマヒ）八日　泉涌寺舎利会（センユウジシヤリヱ）
重陽宴（チヤウヤウノエン）　菊花ノ宴　重九　菊酒　茱萸の袋
菊ノ觴　あさくめ酒　をまれきせ綿

九日小袖　菊襲　菊の着綿　菊に供へ
登るまゝのぼる　栗の節供　後の雛
後の衣え　浦に離宮し　醍醐祭 九日　御香の宮祭
九日 秋見する　鞍馬祭 九日　貴船祭 九日　生玉祭 九日 大坂
足代ぼうれ 十日　神田祭 十日　十日夜　四の宮祭 大坂 十日
下る菊子 十日　御影祭 十日　日蓮忌　雛の餅 十二日
同様ふう 繩船　住吉相撲会 十三日　住吉市
宝の市 十三日　白川寺 十三日　後の名月　十三夜の月
豆名月　栗名月　ふたよの月　月のなごり

天王寺一乘會 十一日　岩倉祭 十五日　小倉祭 十一日

勧学會 三月三日　粟田口祭 十五日　白川橋の東

剣崎 十一日 十六日　一ノ宮祭 十一日　神田祭 十五日 江戸

御前祭 十九日 武蔵葛飾　築土祭 十五日　芝神明祭 十五日

太秦の牛祭 十二日　山口祭 中ノ巳午ノ日 周防

度會新嘗會 十一日 伊勢　究織祭　兵服祭 十八日

城南寺祭 廿日　八幡枇杷の頭 廿日　婆娑女祭 廿日

長野祭 廿日　上難波祭 廿日　生麻祭 廿二日

木幡祭 廿四日　稗ヶ谷祭 廿四日　逆乎支祭 廿四日 江戸相模

天満流鏑馬 廿五日　北山祭 廿六日　津村祭 廿七日　鳴瀧祭 廿八日　福王子祭 廿八日　住吉ノ神送 晦日　野の宮の別

桂川の御祓　伊勢御遷宮 廿一年目毎ニアリ　虫撰 六月ニモアトモ

爵入大水為蛤　豺獸を祭る　寒露の節 九月ノ節

赤胡麻 九月野外ニ群

菊　菊合　百菊

○菊の

数めくり　家隆　羊生　何さき笠　さ海り　素尾
さくれ　俳諧　つゆ滝　薄色し　よろし令　樊噲
つくり山　馬とそ　松の葉　おさ水流　円ゆり
そらし　御衣の猫　衣の袖　女之の宮　須磨山
今尉　きんひく　あかりの上　
乾かん　武綱　季武　わらん　若葉魂　天の原
帝の跡　附子　帝と　人丸　つかす　ひし餅
敷山　席のすり　何夜　りの花　いがき　紅葉
草笠　ちし　業平　雲車　三笠山　持寺とき
徳のくも　もろた　四方面　ひかり立　源の香　としかが
明　鹿まき　吉野　伏見龍　朝露
林の花　かくまき　かのよもぎ　月さ　きんえん　なく鶯　鶯む
うそ啼　ひも鶯　大人　四こつ声　桐生
小松　ひく嫁し　木山　法の　稚く　なれ燈　ところがち
　　　　　　　　ころける

黄三井寺　黒尾　楊貴妃　未つむ　石黄　小町まかせ
おいれ　鏡山　俳句妃　けや蝉　二本松　何首屋乃
太夫之や　夜々言　めくれさき　庭がし　大徳寺
明星　小斗　老人　野の丹　こてんま　夜後
豊のあり袖　ぬまふり　東経　物をか　替えたるの
嵐さ花　桜あり　四月行　四かりのてさ山　丸が
文字法ひ　絵島　ゆくいも　二月有し

# 紅葉

たあくもしを結くへ此まへて天名を結ぶし　紅葉名あんとうく鹿ままあちさまと子菊の字を白吉
　間名以字　名字もちる　月月ちく　州のもちろ
　時雨を結すも露を結ぶにもにらくといかさ紅葉あり
○紅葉見合　目作る目にはし　紅葉山科し
高尾山　高雄　分しは　立ちの山　赤地の錦　その面山　名月
紅葉の内　とさいり　切りしき　青葉　うぎり　紅の夜　他人
袖の内　鹿狩　丸屋　高田　あわし山　むさしの　信九　夜嵐
深山　通天　龍田川　枯松　かくすき　こうわ紅　実名寺乾

くずしされ　まさきされ　ゆみしき　さらし山　しぐれ山
さらしう

霜降（サウガウ）ノ節　九月中　このほか数多あれどもいでて一二を記す

紅葉狩　柞（ハハソ）　檀（マユミ）　梅紅葉　桜紅葉　名木紅葉

櫨（ハゼ）　[illegible]　木の葉うつろふ　東紅葉　[illegible]の実

楓（カヘデ）まさきとりのるも　漆（ウルシ）はじ　ぬるでの紅葉　柿紅葉（カキモミヂ）

色かへぬ松　いてう　銀杏　木の実　榎（エ）の実

落栗（ヲチグリ）　さゝぐり　いが栗　椎（シヒ）　柿（カキ）　本練

まさきむき栗　やき栗　ひらしひ　ねちしゐ　熟柿

茅栗　熟柿　樽柿つき　棗（ナツメ）　蜜柑（ミカン）　金柑　九年母

柚（ユ）柑　柚のみ　雲州橘（ジユキツ）　仏手柑（ブシユカン）　やりうめ

林檎（リンゴ）　花櫚（クワリン）　花梨　石榴（ザクロ）　榧（カヤ）　胡桃（クルミ）　梨（ナシ）　ありのみ

[illegible]　杏　花梨　[illegible]のつまなし

網代打（アジロウツ）　衣打　袖の霜　鰯（イワシ）黒漬（ツケ）　崩（ハダシ）魚簗

番船（バンブネ）　番船　大坂より江戸へつかはす一番船を二番三番の船と

秋深し　秋ぐるる　行秋　暮の秋　秋のなれ　秋の

秋のわかれ　秋の限　秋の名残　秋をおしむ

秋の暮　秋深き　秋をおくる　秋の名残を惜しむ

秋をとゞむる　秋ぞゆく　秋すぎて　[illegible]

冬近し　冬隣　冬近し　[illegible]

おくれて　うれしき　冬のつり　[illegible]

衾（フスマ）をたゝむ　九月尽（ジン）　何者の神送

まむろし ありのみ 生のもの いせの名所

栃の実 とち 櫟 かまつかひ 國栗

橿の実 地楡 白英 雪下紅 又鵯上戸 仙蓼 南天実

睍子 榧の実 皂提子 菩提子 木患子とつぶのことよ 木一

欒子 槇槇の実 老母草の実 栴檀の実 椿の

実 桐油の実 出落栗 山栗いがをぬけし栗なり

三度栗 一歳に三度みのる栗 山栗 小粒栗 檎栗 柏子栗

榛 無花草 一熟 唐柿 いちじゆく 一熟子 烏

柿 松子 水木 梅 嫌 つる梅もどき 枳殼 松露

野山の色 野山の錦 枯野 霜の色 虫わたし秋なり 黄嶺 纈林 錦繍の林

# 冬

十月 應鐘 陽月 小春 初冬 顓頊帝 御禊 立冬 小雪中 玄冥神 上天 元帝

良月 陽月 孟冬 時雨月 初霜月 上冬 析木 泰正

亥の子 初亥 孟冬の旬 氷魚を賜る 隠曹と食ひ

手爐 爐開 炉炭を進る 暖めに酒

亥の子餅 神送 一日 立冬節 月の朔日

ゐのこ 亥子 ふいご祭 射場始 残菊の宴

達磨忌 十夜の念仏 興福寺法華会

維摩会 金毘羅祭 十日 讃岐

末枯　うら枯とハうらかれ行園野辺草々木すへて枯る文字を入るなり　草葉のすゑより色つきてうらかるゝをいふ　蟾山

仙蓼　薄散　忍草　芦の穂　芦の花　芦の穂　穂なくて稔之

思草　なんばんきせる [illegible]　宝宮の [illegible]　とも云

[illegible]もろくし　四ほうぶ　豌豆引　通俗志ニ其之増山ニ九月之故ニ再出て

緑豆　一年二三度引故ニ八重生ト云　豆引　赤豆引　よろつれ花

やへなり　破芭蕉　菫摘　いとほう　初茸　椎茸　平茸　ト治

晩田　ひつぢ田　初たけ　[illegible]さけ　天狗さけ　舞茸

遅稲　新米　今年米　蕎麦引　新蕎麦　漆取　ウルシトル

新酒　中汲　古酒　蒲萄酒　佛香碧　佛手柑酒也

紅葉鮒　小瀑江鮒　堺ノ浦ニ　紅葉れ土器　蜀の盃 [illegible]

芭蕉忌　十二日　元禄七戌年十月難波ノ旅亭ニ歿ス　芭蕉庵桃青

御影講　十三日　日蓮上人忌日　御命講ト　御會式ト称ス　池上本門寺會式　日蓮遷化ノ地也　十二日ノ夜ヨリ十三日ヨリ十三日マデ群参ス　江戸ヨリ

下元の日　十五日　正月上元七月中元十月下元是ヲ三元ト云月也　水官厄を解よし

聖一忌　十七日　洛東東福寺開山　弁當納　京師ノ人十七日ヨリ遊山ノ終トス

御取越　親鸞上人忌ヲ取越て修スル　夷講　廿日　誓文拂　廿日　法勝

寺大乗會　大社の神事　口切　初霜　八日霜　三ッ花

初霜消る　霜の花　霜さゆる　霜の声　霜の橋　霜崩れ

霜折　霜柱　月の霜　[illegible]

青女　雪霜ヲ守ル神　初時雨　時雨　村時雨　夕時雨　涙のしぐれ　袖のしぐれ

川音の時雨　松風のしぐれ　しぐれとハ秋の末冬の始の時雨をいふ

またれし訓ゆを小雨のことゝなと

初氷 初氷解る 鐘氷る 冬牡丹

初雪 初雪消る 初雪句を書

はしれ花 大根 家の菓

八ツ手の花 茶の花 山茶花 冬至梅

帰り花 梨 桃 杏 桜 菊 枇杷の花 宇津田神祭

山吹の帰り咲

小雪ノ節 十月中也 大社ノ神事 中ノ亥日 神集 出雲

神の留主 神迎 暦 木枯 落葉

木の葉衣 木の葉ふる 柳ちる

木の葉ちりても 柳のこし 落葉ちる

枯野 枯芝 蓮枯る 芭蕉の枯る

枯萩 枯る 藪枯 菊枯る 葛枯る



雪沓 雪靴 河豚 鮟鱇 蜜柑 柚子

九年母 おなじものなり 杉焼 湯婆 風呂吹

鯨 くじらは是うと歯あし 上歯はあり

天窓ぬくい桶の水 鯨の骨をまつりをなし

鮟鱇 鮟鱇の肝 河豚汁

綿守 一ノモリ 二ノモリ 三ノモリ

鷹 退羽打 鷹を居る時は羽ふりて飛んとするをいふなり

兄鷹 隼鷹 大鷹 鷹匠 鷹犬

弟鷹 将杖 狩場 鷹すゝけ

ぬすみ鳥 又ぬけ鳥とも 偸 立ち出

おとしの鷹 鷹の眼 はなしの鷹

鵥毛（ムサゲ） 鳥の鬆尾とて尾の下にある 限り毛（カギリ） 鳥の尻の毛也 毛をいふ
鳥羽（トバ） 鳥回（トカヘ） 鳥の羽こ 鳥の妹背 女鳥ともいふ
鳥媒（トヤ） 鳥を引よするためにつけおく鳥也 尾の鳥 尾のさきをいふ
鳥飼（アトガヒ） 鳥の物をくふ所にて鴿鴒をかふ也 鳥（カンコドリ） 遊鳥 物
かや草を つゝむをいふ をとし へうき 鳥の巣のうへに けしておくる
ぬくめ鳥 冬の夜の寒さに 鳥をとらへて 夜すがらあたゝめて 翌朝に放す
やさしき心也 さて かの鳥の とびさる方へ 恩を謝すといへり
鳥は神功皇后即位四十七年丁卯年百済より貢す 後
仁徳天皇の御宇唐より鳥を献す 天皇御撰に出 此ひ
雉をとらへ みかどより鷹 鷹の始也
雪 六ツの花 むつの花 雪の花 雪つぶて 霙（ミゾレ） 霰（アラレ） 玉あられ

蕪引（カブラヒキ） 蕎麦刈（ソバカリ） 麦蒔（ムギマキ） ちゆる 月さゆる
寒き 夜さむ 網代（アジロ） 網代木 あじろもる 氷魚（ヒヲ）
ひをさる使 千鳥 村千鳥 浦千鳥 磯千鳥 川千鳥
柴漬（フシヅケ） 夕波千鳥 友千鳥 浜千鳥 千鳥足
水鳥 浮寝の鳥 鴛鴦（ヲシ） をしの衾 をしの沓
鴨鷹（カモタカ） 夜興引（ヨツヒキ） 鴨 あぢのむら 鳥 かも 水鶏 霜のかき
生海鼠（ナマコ） 鱈（タラ） 塩鱈 棒鱈 口塩の鱈 炭竃 炭 白炭 炭焼
売炭翁（バイタンヲウ） 炭とり 小野炭 池田炭 炭焼 廻炭 輪炭
点炭 炭取 佐倉炭 枝炭 切炭 炭俵 白炭
獣炭（ケモノスミ） 晋ノ羊琇 炭ヲ以テ獣ノカタチヲ作ル 綿 たくはふる 綿入 綿子 きぬ綿
わたつゝみ 綿ぬき 綿帽子 ひぢつき

衾 衣類ハ夜分ニ 坐禅衾ハ非夜分雑
ちゃんちゃんこ 袰 ねんねこ 袖なし
紙衣 布團 頭巾 ちりめんづきん ねつきん 湯婆
炉 囲炉裏 火燵 手炉 按火子 手焙 懐炉
火桶 埋火 胼 皸 足袋 革たび 皆たび 榾
葱 ねぶか ひともじ 大根引 胡蘿蔔 莖 莖菜 莖漬
切干 干菜 室咲梅椿 水仙 金盞銀臺 冬椿 柊ノ花
名の草枯る 枯尾花 枯芦 落葉 木ノ葉
枯葉 名木枯 しもかれ 刈生乃瘠 枯さるゝすゝき
液雨 立冬ノ後十日入液、小雪出液 其頃液雨降 未中 冬篭 冬構へ 雪垣 雪竿

四十二

萸酒 壬子酒 北窓塞ぐ 水洟
髭囊 髭ヲ袋ニ入ル 関羽容さるはいつみて髭ぬくてとぞ曹操錦の袋を賜ふ故らの袋と髭を二つ度て入る漢帝その袋の故と問ひ給ふ袋をぬきていらへまつる髭を数流されてほめさせ給ふてより美髯公と関羽をいへり
萌芽 [illegible]
三月ニ渡ル物
雪吹 雪 霜 氷 氷 霰 炭 炭取 助炭
榾 炉 いろり 火燵 手炉 手焙 懐炉
火桶 火鉢 埋火 湯婆 胼 皸 水洟
衾 蒲團 頭巾 綿帽子 綿子 紙子

はめくさき 冴 冴月 寒 蕪 大根 胡蘿
茎菜 茎漬 葱 冬葱 切干 干菜釣
室咲 梅 椿 蓮翹等色々有 水仙花 銀臺
枯芦 枯柳 木の葉 落葉 朽葉 枯野 名草 名木 枯ル冬
みそさゞゐ 冬野 鷹 鷹匠 狩 追鳥狩
鴛 鴨 小鴨 羽白 水鳥 浮寝鳥 千鳥
氷魚 柴漬 網代 竹筒 生海鼠 とらご 金こ
雪つり 鱈 塩鱈 石花 鰮 鰒 鮫皮ふぐ
魦 鯨 銛突 夜興引 杉焼 鍋焼 納豆



汁 蕪大根のふろふき とうだ湯 生姜酒
玉子酒 霰酒 霙酒 青物 萌芽
雪竿 雪垣 雪車 橇 草ニテこしらへ ルマリゾクコトキモノ 又 檋ハ雪国ニテ木ノ枝ナトヲツギニテアミハトナス付雪ノ上ヲハキアリキムキヲフミカタメルモノナリ

## 十一月

黄鐘 律 大雪節 冬至中 仲冬 周正 復月
暢月 子 淮南 辜月 天正月 暦家ニ云トコロ 霜月 雪見月
霜降月 神楽月
暦奏一日 朔旦冬至 十一月朔日冬至ニアタルヲ云 二十年ニ一度アルユヘニ吉瑞トス 一陽
乃嘉節 宮線をそへ 履を献 襪を
献る 赤豆粥 歌舞鼓足揃 顔見世 一日つゞくる絵
印串 あかゞしいたゝきあかゞしらとも 十一月一日より十一月ごろまでの をそくり也

相嘗祭 上卯日　宗像祭 上卯日　山科祭 上巳日
平野祭 上申日　春日祭 上申日（十四日共云）　杜本祭 上卯日
當麻祭 上卯日　率川祭 上酉日　梅宮祭 上卯日
當宗祭 上卯日　中山祭 上卯日　松尾祭 上卯日
大原野祭 中子日　園韓神祭 中丑日　吉田祭 中申日
道陸神 十六日 天王寺　日吉臨時祭 中申日　加茂臨時祭 下酉日
東三條御神楽 下卯日　新玉津嶋御火焼　宇賀
祭 丑日　五節 中丑日　帳臺試　鎮魂祭 中寅日
新嘗祭 中卯日　豊明節會　殿上の淵酔 寅日

里神楽　山神楽　小忌衣 をみの袖 山あゐの袖　日蔭の糸 日かげのかづら
神楽歌　神あそびの歌　心葉　あちめ　庭燎
採物哥 神うたふ、みてくらうたふ 杖 笹 弓 たち わこと ひさご
韓神うたふ　大前張 宮人 木綿作 難波潟 前張 階香取 其駒野 殿晋　小前張
薦枕 閑野 殿島 篠波　殖槻 総角 大宮 湊 蓋　千歳　早歌　星 吉々利々星 得銭子 木綿作 昼目 弓立
朝倉 其駒 竃殿うたふ 酒殿うたふ　貞徳云うたひものゝ季にいれども人備捷ねみあらそ
吹革祭 八日　御火焼 子日　子祭 子焼ともいふ　五節 中丑日　帳臺試 五節舞 常寧殿
空也忌 十三日　鉢扣　お佛事 廿二日ヨリ廿八日マデ　御祭 廿七日春日ヨリ
酉の市 酉ノ日 江戸浅草　雛の町 酉ノ日 武蔵及花又村　新鶏の町
童女御覧 卯ノ日 清涼殿ニ召テ御覧　将の使

日丸使　搗鳥　後日鉄　髪置 十五日　袴着 同　帯解 同

被初 京　初深雪　雪　雪の花 六ツの花　深雪 むら雪 雪しまき

もちゆき　雪つぶて　雪げ　雪ころばし　雪おこし　雪仏

雪女　雪の礼　雪達ア　雪まろげ　雪布袋　ふゞき　ふゞきだれ

霙　霰 玉あられ 霰　雨まじり　すゞゆる　氷柱 つらゝ 銀竹　凍て

氷 うすらひ 氷の衣　薄氷 氷る　厚氷 水くらゝも氷る　氷面鏡　寒念仏　寒垢離

寒造 諸国寒中ニ製スルモノ何ニテモ寒ツクリト称ス　寒雛卵 数月ニ生ても中でとく ほれ八寒月よむよし

寒声　潤庵漬 製ス　薬喰　新子大根 青菜

新子焼　太山樒　冬至梅　水仙花 金盞 銀台

虎耳草　大師講 廿四日 天台大師ノ忌　一向宗ノ仏事



報恩講 廿二日ヨリ廿八日ニテ　祖師忌 十一月廿八日夜　蒟蒻引　生姜堀

杜父魚 霰ふる日出ル　初鰤　鶏卵酒　生姜酒　霰酒

霙酒　蕎麦湯　網貫　雪車　橇　御師の旅

鐘冴ル　月冴ル　星冴ル　寒苦鳥　羽食鳥

何れ音ありても寒きと添てさゆるとすれ是冬なり

此鳥諸鳥の羽を食ひ雪中ニ巳の羽とする ...

○霜 異名ヲ三ツノ花ト云ヘリ古書ニハ挑灯法ニ絶ホモノ外ニモあり又それ/\古ヨリ異名ニ用ルコトアレ今雅異名ニ用テ不苦但シ雪ヲ六花ト云ルニ対シテ三花ト云ニヤアラザルベシ水ノ花トイフ心意ナルベシ

○貞徳翁忌 承応二癸巳年十一月十五日卒 寿八十三

十二月 太呂 律　小寒 節　大寒 中　季冬　殷正　臘月　極月　除月

三冬月　暮年　景影　窮月　春待月　梅見月　親月

事始ハ正月ノコトヲイフ也ナリ 御事納メハ二月八日也 東武ニテハ古事ノ名ナリ

乙子の朔日 或ハ弟児とも 乙子の餅 忌日の御膳 一日 六月ニ同

大神祭 上卯日 四月ニ同 三輪ノ祭之 天智天皇ノ御国忌 三日 崇福寺ニテ行ル

臘日 道家ニ云 正月一日ヲ天臘 五月五日地臘 七月七日道徳臘 十月一日民歳臘 十二月王侯臘 中ノ辰ノ日 温糟の粥 八日

臘八粥 御斎御卜奏 十日 六月ニモ有 月次の祭 十一日

神今食 十一日 御仏名 十九日ヨリ廿一日マテ かはけ綿 柏梨

の勧盃 年の終の魂祭 星仏賣 十三日

事始 八日 荷前の使 十三日 御髪上 下ノ午 土牛童子

像を立 大寒ノ日 着駄の政 五月二日 内侍所御神楽

最勝寺の灌頂 十五日 江戸煤拂 十三日 近江 甲ニモ十二日ナリ 今ハ思々ニ 衣配

女楽などてらしらかんとて 先容をみならふことし 浅草年の市 十七日 十八日 大徳寺開山忌

廿二日 紫野 和布刈の神事 晦日 長門 斎宮ノ倉馬 晦日

五条天神祭 勝の餅 白朮賣 吉田大祓 節分ノ夜

厄塚建る 同 追儺 鬼やらひ 福ハ内 鬼ハ外 柊賣 柊さし

なよしの頭さし 鰯の頭さし 赤いわし 豆をいる 鬼打豆

浅草観音追儺 除夜ヨリ七日 船神祭 節分 除夜 三十日

小晦 廿九日ヲ云 大晦日 大歳 晩歳 餽歳 別歳 行歳

歳暮 いぬゐとし としの尾 年の緒 流るゝ年 暮行年 年くるゝ

としの際 年の果 年の湊 年の果 集まる としの限 年の暮 年まさるき

まだきさる 年忘

○私大 南部ノ人十二月小ノ月廿八 翌廿九日ヲ以テ晦日トス 厄払 厄落シ 胸搗 節季候
八ッ目鰻取 節季 廿二日ヨリ廿七八日マテ 婆等 廿日ヨリ廿五日マテ 年篭
○孟宗竹 義和田の鯉取 塩引鮭 乾鮭
塩鰹 口塩の鱈 塩引鱒 年の市 松竹売 破魔弓うり 鉄打売
須運佛黄 栢 橘 栗うり 手鞠羽子板売 降うくうり 羽つくうり
煤掃 札納め 竈公祀 餅搗 もち米洗 鵲始
て巣をつくる 寒卯より廿日 鶏つるみ初る 寒卯より廿日 大寒 新嘗祭 寒卯より廿日
三冬畢る 岡見 大三十日の夜 逆裏 年木樵 鯛味噌
噌 豆腐蒟蒻氷しき 宝舟 貘の枕





貘の札 門松いとなミ建る 古暦 暦の巻返シ 右ニ巻暦
早咲梅椿 ○歳蔵市 江戸四日市ニテ万歳ノ脇士才蔵ヲ年々 三河万歳来リ賃ヲ定メテ雇フコトシ
○王子の狐火 十二月晦日群狐装束榎ト云 木ノ下ニテ火ヲトモス其火ヲ以テ明年ノ豊凶ヲ見ルト云
○同衣裳榎 是則装束榎也大年ノ夜関八州ノ孤王子ノ稲荷ヘ集リ此木ノ下ニテ装束ヲアラタムルト云
○年れ夜の大神楽 大三十日ノ夜ヨリ正月十五日マテ江戸ノ街々大神楽ノ獅子ヲ舞来ル戸々是ヲマハシム
冬と惜む
○長崎の柱餅 肥前長崎ニテ年暮ノ餅ツキノ終ニ一臼ノ餅ヲ家ノ柱ヘ巻付ヲキ正月十五日左義長ノ火ニテ是ヲアブリテ食フナリ

三十四

# 同字別吟

春日（カスガ）に春（ハル）も日（ヒ）を　筑紫（ツクシ）に紫（ムラサキ）　朝（アサ）に朝庭（テウテイ）
我朝（ワガテウ）　朝鮮（テウセン）　勅命（チヨクメイ）に命（イノチ）　弥陀（ミダ）弥勒（ミロク）に弥（イヨイヨ）
代（ヨ）に代物（シロモノ）　関白（クワンバク）に関（セキ）　中風（チウブ）に中（ナカ）中（ウチ）
南無（ナム）に無（ナキ）　氷様（ヒノタメシ）に様（サマ）　行（ユクヱ）に行　軒（ノキ）に花軒（クワケン）
難波（ナニハ）に波（ナミ）　軽重（ケイヂウ）に重（カサナル）
これらはかぎるべからされどもあらましを
書つけ侍るをたよりとして書る人ゝはしれ

三十五

# 神祇之詞

大嘗會（ダイジヤウヱ）　新嘗會　宮居（ミヤヰ）　古宮　竹の宮　小宮
社（ヤシロ）　荒社　朱の社　久やの社　社頭　古社　末社　神倉（ホコラ）　鳥居（トリイ）　花表（トリイ）　朱の鳥居　葛の鳥居　石の鳥居　九木の鳥居
玉垣（タマガキ）　瑞垣　葛の玉垣　宮垣　朱の玉垣　葛の玉垣　皆の玉垣
片そぎ　千木の片そぎ　駒犬（コマイヌ）　拝殿（ハイデン）　御供殿　舞殿　祢宜（ネギ）　神主　宮守　社人　宮人
かんなぎ　社家　社務　社僧　神子　長官（チヤウクワン）　祭主　おんな子　御師の大夫
おほぬさ　夏もうで　夕もうで　山田宇治の宮　いせの御祓　住吉の御祓
御祓（ミソギ）　みなづきのはらへ　茅の輪　形代　神楽（カグラ）　里神楽
夏神楽（ナツカグラ）　川社　小鳥なる神　法楽　夜神楽
神輿（ミコシ）　祭　祭礼　榊（サカキ）葉　忌行さん（イミ）　御幣（ゴヘイ）

みてぐら　神慮　託宣　夢想　御湯立　御鬮
大ぬさ
柏手　迎柏　忍柏　送柏手　御贖　木綿　便の水　斎
御火焼　物忌　誓文　胎　起請　氏神　切火
打火　鎮守　三寸　繪馬　放生會　岩船　舟玉
穂屋作　神おろし　釜ならし　常陸帯
東遊　乙女子　伊勢講　初午　月待　日待
庚申待　遷宮　鈴　木綿付鳥　神祇ニ禁裡ニテ鶏鳴ン鶏ニ木綿四手ヲツケテ帰ス　角ノ川ニ流スト云　夜ヲカケリ
月待日待庚申待ハ本今ハ佛坊を頼て祈念するものなれど本ハ不浄て
神ハ見へずとも必ず一つとも忌るし神ハ人の爲ハ神にてこそ忌も二ツを立
唯一の爲ハ神は三ツの神ハ人にて立去りしも神をも見てやれも味ひ嫌也

非神祇詞
元方　年徳　男山　佐保姫　龍田姫　橋姫
龍神　龍宮　放生川　贄　山伏　榊　上巳の祓
三十六　釈教之詞
佛像　木像　繪像　座像　立像　元祖　開山　祖師　門跡　院家
國師　僧録　律師　長老　上人　和尚　西堂
東堂　首座　蔵主　典主　書記　行堂　僧正
僧都　法印　法眼　法橋　阿闍梨　撿校
碩学　坊官　法師　法躰　入道　発心　新發意

比丘 比丘尼 尼 坊主 坊 大坊 衣への坊 六坊 里の坊 宿坊 出家

沙門 桑門 釈氏 沙弥 僧 上僧 平僧 老僧 若僧 禅僧 悪僧 小僧

客僧 鷹僧 寺 律寺 禅寺 真言寺 山寺 里寺 末寺 念仏寺 寺家 寺内

法花寺 塔中 三井寺 初瀬寺 塔中 五重塔 三重塔 多宝ノ塔 洞ノ塔 尾上塔 雲間塔 石塔 九輪

堂 後堂 講堂 御影堂 谷堂 本堂 古堂 釈迦堂 念仏堂 護摩堂 伽藍 塔

輪蔵 田廊 方丈 客殿 厨 輪宝 袈裟

眠蔵 居士 行人 山伏 頭陀

珠数 念珠 百八 いらたか いのむ 帽子 花盆 鑰 拂子 仰鍔

餓化 所化 修行 聖人 導師 喝食 禅門 鉢扣

看経 印塔 五輪 素旹 十徳 頭襟 篠懸 金

剛杖 錫杖 喚鐘 鳧鐘 鐃鉢 鰐口 木魚 登壇

經帷子 鐵鉢 談義 法談 論義 座禅 灌頂

施餓鬼 布施 功徳 因果 地獄 流轉 三界 十界

宿業 常燈 常香 五山 法問 引導 観

念 悟道 持堂 斎 時 非時 六斎日 茶湯 廻向 彼岸

迎雲 紫雲 来迎 命日 位牌 六道 菩提 持戒 破戒

外道 鷲峯山 室の戸 閼伽 三つの車 火宅

禁足 餓鬼 諸佛の名 菩薩の名 祖師の名 天蓋

曇花 [illegible] 寶頭盧(ビンヅル) 三具足(ミツグソク) 華鬘(ケマン)
九品(クホン)の臺(ウテナ) 寂光淨土(ジャクコウジャウド)
非人教詞
鐘(カネ) 高野山(タカノヤマ) 日枝山(ヒエノヤマ) 愛宕(アタゴ) 神祇
三十七
戀之詞
こひ 戀の山 戀の淵 戀の海 戀人 戀衣 あだ戀 [illegible] 戀のや
戀慕 うき戀 戀風 戀路 戀痩 [illegible] 戀のやつこ
おもひ 思ひ寝 うき思ひ 思ひ川 初思ひ [illegible] 思ひの人
思ひの山 思ひ煙 片思ひ 物思ひ [illegible] 思ひの関 [illegible]
思ひ草 [illegible]
なみだ [illegible] 泪の関 泪の海 泪の雨 袖の海 [illegible]
泪 [illegible] 袖の露 袖の白袖 [illegible] 袖の涙 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
聟入(ムコイリ) 嫁入 婚禮(コンレイ) [illegible]
新枕(ニイマクラ) [illegible] 若後家(ワカゴケ) [illegible] 歌舞妓(カブキ) [illegible]
傾城(ケイセイ) 白拍子 遊女 [illegible] 揚屋 [illegible]
郭 吉原 新町 島原 [illegible]
[illegible]
[illegible]
念者(ネンジャ) 小姓 娘 女 妾 [illegible]
[illegible] 悋氣 [illegible]
[illegible] 睦言(ムツゴト)
[illegible] 口吸

ひとり寝 足の冷 さひしや 河竹 あはれ 袖 屏風
きぬぎぬ うらみね ちぎりきく あだし契 よその契 うき契
契り ちぎりちぎり 契の末 二世の契 浮き契 やくそく
伊達(ダテ) だてくだて 人目 人目の関 尾月つり
ながしめ 神いのる 物うき うき川 くさく
好色(イロゴノミ) 色人 色好 みだれ髪 あそび 流れ
待 まつ夜 待宵 まつ君 まち人 逢夜の道
白(ウラ) うらみ 恋しき 扇 夜
出家尼(シユツケアマ) 歌比丘尼(ウタビクニ) いひなづけ 肌(ハダ)
まちかね 悋気(リンキ) 三ころつやさん 後白髪(ゴシラガ) 天生子(テンナシゴ)

縁(エン) うき縁 浅き縁 結ぶ(ムスブ)の神 化粧(ケハウ) 句ひ袋
えんむすび 思ひの玉 化粧(ツヤ) 懸想文(ケサウブミ) 水祝(ミヅイハヒ) 丸額(ヒタイ) 子をなす
子持臭(コモチクサ) 化(アダ)し 恥かしき 垣間見(カイマミ) 虫の下 夫婦の合
諺言(イヒリ) つれ侍 心中 やもめ 後家 男なくみ
かりね 教ずる 下紐(シタヒモ) 逢わせ
振 まくら 足さぐり 偽
雑魚寝(ザコネ)
ねとる 物の怪(ケ) 後めた
あこがれ 嫉く(ナマメク) 古きつき 寝ごろ 親さかり
身おもさ 国ひ女 肉屏(ニクビヤウ) 暁傘(アカツキガサ) 雑喉寝(ザコネ)

悪の古き楊貴妃王照君武蔵坊よりも一しほ美しきゆへ
みなみれいつまでも悪まなかりけり

後家 非人 斎 傾城の女 市女 下女 桂女

三十八 無常之詞

墳寺山 あとしの煙 鳥辺野の煙 人焼場 灰よせ 墓
塚 死出の山 死出の旅 三つ川 せい川 三途川 死人 亡き人 はかなき命
腹切 自害 むくろ 白骨 冥途 黄泉 はかなき いさゝめ
喪 中陰 四十九の餅 魂むすび 人魂 力落 枕食

なら酒 出さられ候 野辺の送り 愁嘆 無常の煙 幽霊
かの枕 髑髏 髑髏

三十九 述懐之詞 并 懐旧

往昔 いにしへ 昔人 昔語 昔の夜 いにしへの友 昔の秋 古の事 昔いにしへの友 命 うき世
老 老いし 老いの波 老のくる 老のひつじ 老翁 老若
老のすがら よそひけり 古七十ヲ古稀 六十ヲ四十ヲ初老 五十ヲ知命 六十ヲ老とこへ
生死 年寄 浪人 姥 貧 後家 後室 身はうき
親子 不弁 世帯 隠居 隠者 遁世 苔の衣
苔衣 墨染 白髪 眉の霜 侘住 捨る身 ぼうず

俊成 サダメキ世ニモ若キハタノ二ヲヽ又ヒナカクニ老ノ身ゾウキ
定家 ヒニカクニ老ハモヽノ年ニヘリ定メナキ世ニワカキ身ゾウキ

家を賣る 賣食 古家 其日過 摺切 不仕合
継子 寡 乞食 世捨人 渡世 借錢 借銀 借状
年忌 月忌 遠忌 親子トシニキニレハ述懐也ト古書ニ皆有之不用ヒテ雖レテ非人倫ナス故ニアラス但古人述懐コリナ述懐ニ定ムルカ定メモ謂レアル丁也 俊成定家之哥

非述懐詞
翁 炭賣 翁 残身 愚 尉 座頭
瞽女 病 煩 草乃庵 柴の戸

四丁

人倫之詞
雲上人 殿上人 武士 士の字の付くもいつまでも人倫よむ也 侍 兵 郎等 蔘者 使者
医師 師の字付ハいづれも人倫 佛師 絵師 諸物師 僧 法師 山伏 比丘尼 尼

儒者 者ノ字付くるは何れも人倫 文者 筆者 農人 商人 町人 職人 かべぬり 番匠
伶人 藝者 役者 猿まはし 翁 嫗 陸尺 伯楽 馬士
馬子 番太 猟人 猟師 漁翁 舟人 桂女 士 身 我 獨
月のあるじ 花のあるじ 家のあるじ 月の友 花の友 亭主 兄 姉 妹 海士
民 婢 関守 狂人 乳母人 衆徒 樵夫 鷹匠
瞽女 盗賊 夜盗 海賊 盗人 山盗 強盗 祢宜 神主 若君 惣の君
臣下 長者 嫂 妻 親子 伯父 伯母 祖父 祖母
姑 舅 姪 孫 後家 児 厨 御傳女 御師 能太夫
仕丁 野郎 傾城 白拍子 湯女 道心者 居兒 男

女友達 内儀 師匠 喝食 同宿 新発意 博士
橋守 舟長 聟 密夫 酒の酔 笠張 鉢扣 孤
吉野の國栖 身を入 儒の聖賢は名 孔子顔回と婦皆人倫 るり ものちハ佛家
是ハ人倫をのかれ家を出るをいふ元と儒家ハ人倫の道を立るを本とするゆへ
狂人

非人倫門

東宮 皇女 門跡 公家 帝 宮 親王 女院 本院
仙洞 親院 太子 大君 人間 入道 山姫 仙人 老老
一門 一家 六親 奉行 雑式 給仕 典薬 下戸 眷属

祖師 橋姫 我君 本尊 外科 二人 老若 俗人 大将
勢揃 人形 聾 盲目 唖 代官 月を友 花を友
月をあらし 花をあらし 酒を酔 塗師 いづれも
目代 目付 もろもろの弟子
一族 雑兵 凡夫 支離 和尚 寒山 拾得
私某 且那 地頭 坊官 氏宮名 如来 菩薩
祖師の名非人倫也

四十 居所之詞

家 家居 宅 小家 門戸 背戸 窓 蔀 格子 障子 床

殿　殿作　殿の内　夜のとの　樓　樓上　宿　旅宿のやど
宿のいくまなくーの中と　あれふゝ舎と　屋　あり家もしや　ふる家　かりやまや　かもや　住や　あたらしや

城　天守　亭　玄関　館　泥地　棟　軒　二階　棚
庵　里　村　天井　廣間　見世　臺　部屋　廊下　臺所
座敷　壁　居間　湯殿　納戸　家根　欄干　築地　垣
隣　藏　椽　火燵　坪内　外面　簾　井筒　走　暖簾
疊　書斎　敷居　鴨居　園　爐　圍爐裡　礎　簀子
柱　但し柱をいふハ　杖柱の居所はちまちぬ　家の柱よりハ



四十二

## 夜分之詞

神樂　日待　明星　七夕　夢　夢想　靈夢　更
ふくろふ（梟）　稲妻　宵　闇　曙　曉　横雲　晦曉　月
三日月　入　明方　有明　残　暗　東雲　あられいで
かさしれ縄　白夜市　炬　灯籠　行燈　燭臺
漁火　花火　埋火　露　更て　蠟燭　燈火　まくらむ
又寐　床　鼾　梳　照射　蚊遣火　雞　別の鶏
鼯　苔莚　あうむすぶ　蓍をて　蝙蝠　鵜舟　螢
かくし　下紐　油火　短檠　油續　油突　臥　起る

寝言 轉寐 衾 鐘 堋 紙燭 手燭 燗 睡言
枕 蚊 鼠 鳥の寝 初雞 鶏川 照狩 眠 人魂
蒲團 龍燈 深更 衛士焼火 燎 天漢 星を唱
追儺 衣〃 網代床 幽霊 産女 化物 夜發
过君 山かつら 曉 東雲

非夜分詞

鐘霞 裏神楽 其曉 ゐさ夜 燈火 廿夜
泊 おそ待月 夕月夜 御火焼 男の魂 燈 山伏
床 一夜酒 寝覺 電 明方 明る 明まで 暁 明ぼの 夕顔 入

泊舟 三日月 出る 朝朗 今宵月 今日鐘 入相
座禅 床 泊狩 夢現 夢幻

四十三

山類之詞

山 嶺 嶽 岡 洞 岨 坂 谷 岫 尾上 高峯 麓
滝 嶋 梯 杣木 炭竈 山姫 山姥 浮橋 小塩
小篤 山梨の花 山烏の夜 山子の関 栖の霞 白河
の霞 不破の霞 うつき 葛城の岩橋 久米路の橋 松嶋 九折 畑 泊瀬寺
初瀬の滝 五山

非山類詞

鷲の峰 雪山 鳴玉 淡路嶋 山科の宮 志賀
冨士川 龍田川 木曽路 鈴鹿川 鈴鹿嶺 小野
吉野奥 よしの 岩橋 杣人 炭焼 滝津川 宇治川嶋
爪木 氷室 裾野 薪 猿 越路 山賤 仙人
泊瀬 三嶌 堀

四十四 水邊之詞

海 浦 濱 堤 江 湊 渚 嶋 沖 沼 汀 川 水 淵 池
瀬 洲 瀧 泉 井 溝 津 崎 淡 汐 波 潮 氷 流 舩
橋 筏 網 釣 貝 清水 閼伽 氷室 氷柱 温泉

藻塩焼 浮木 水鳥 釣舩 篊 下樋 浮桶 蛸壺 海士
擢々 亀 水雞 守宮 千鳥 都鳥 鳰 藻に住虫
和布の苅 魚鱗の袂 橋姫 呉神楽 放生會 御秡殿
澪 漂 澪印 澪木 水屑 蛇籠 藻と號しは 藻
蘆 芦 濱荻 杜若 菖蒲 あやめ 真薦 菱 浮草
流木 氷魚 田井 月の出汐 小嶌 紫漬 里に蛍
亀井 氷主 漁火 灣 住吉の神 三井寺 清見寺
志賀浦 大津 明石 粟津 須磨 松嶌 三嶋
岩橋 梁 夜ふね 難波津 浦ニ有関

## 非水邊詞

難波寺 志賀 住吉 大井 粟津原 天の浮橋

泪川 三途瀬川 夢の浮橋 高津の宮 白川の関

月の氷 禊の玉水 布さらし 宮の渡 河内海

田の畦 流しる 仮家 横川 霞の海 硯の海

小田の蛙 鴫 菅 沢の蛍 龍 雲浦 姫 早苗

淀の継 天の岩舟 蓮肉 くさ貝 蓮の上 粟

渡 干鳥 干貝 鵲の橋 紅葉の橋 鏡の氷

四十五

## 雑之分

棟 菊 牡丹 芍薬 菊木の近年の秋名 え世むす 花 雪

霰 花紅葉 蓮を摘 雛の花 松摘 落葉

梅 菫 松の緑 榊 柏 桂 松 若葉 若葉 葛

苺 藻 菅 芦 荒萩 手児 薬 茸 ほし

百草 早蕨 青葉 根苗 苗代 耕 田を植

根もえ 芽く 波 夕雲 村雨 清水 夕立

篝火 蜂 礼扇 虹 電 雷 早 催馬

乱 星月 秋 四方の空 ありま 初風 狗 心の

月　節供　節季候　忌竹　忌火　千汐　榧　胡
桃　柑子　麻の実　かち栗　麦切　麦飯　麦藁
干菜　菜汁　大角豆　芋酒　芋顔節　炭消
霰釜　瓢箪　和布　柚べし　梅干　梅磨　蛤
鮒　鮠　鰯　鯖　虫　蓑虫　蛛の巣　鼬
鷹　雉　狩の使　戸打鷹子　鷹まつる　鴨
水鳥　鶯細　小鳥　山鳥　梟鳴　都鳥　鵆
鳰　巣　大あら巣　鴫　寝ぐら　一番の雀
鷸　さし繩　たぬき繩　布巣　夜着　大君船
附子　鷸手繩　織子　椰子

墓参り　傀儡師　小豕　雛　掛乞　掛
乞り　年次　年渡
右の分雑之季ニ不可用之
一俳諧には通俗の字を用べし　誤りなりとも旧来用来る文字を用べし　古人の謂多し　故に是を不改
一蕪牡丹あれ来事より夏へ分て季を誇く出生君なるゆへ
又ニへし　是も前句によりて季を定むべし　とかく古人の
謂之あるに付て注し置なり　但発句には蕪は夏牡
丹は夏之

俳諧独稽古下之巻終

跋

予茲有卞和之璧問怎生乎曰是則俳諧規矩之寶珠也俳祖並古賢之教且自中興之開祖芭蕉翁遺書等之中所抜萃之書也矣一日客来曰此書盍令彫刻而行于世耶予曰是吾不才

之懷記也畢璞安焉人用耶客曰不可也汝奚謂斯耶是皆非古賢之遺訓欤獨於藏之佗篋新鐫而當傳於門葉否者乃如棄玉石於廡下有何益乎須令上木入幼童於此道然者則貴於師祖連綿之教而可謂似追歷代之

於福也詎可厭世之褒貶兮一是非惑與於粤兮黙然退而想焉客之所言頗是也吾所思大非也故不忍裹於蓋而追用刻成直命剞劂師永世十五城之外周及于蕉翁行脚之圀々而合長照云爾

六々野人　樓川誌

旹文政十一戊子歳玄冥書于泉橋茅舍　貞松齋米一馬

天保五甲午年　孟冬發兌

江戸芝神明前三嶋町　津村七郎兵衛
大坂　加賀屋善藏
京都　俵屋清兵衛
同　野田治兵衛
東武　野田七兵衛